

2013年9月3日

井原市議会議長 殿

第1班 班長 上野安是

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	2013年8月8日（木）19時30分～21時00分
開催場所	野上地区 「野上公民館」
出席議員	上野安是 森本典夫 大滝文則 惣台己吉 西村慎次郎
参加者数	35名
主な意見 要望等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会あいさつ 2. 出席議員自己紹介 3. 井原市議会からの報告 <ol style="list-style-type: none"> 1) 昨年（平成24年1月～12月）の主な活動状況 2) 2月、6月定例会市議会の審議内容 3) 議会基本条例の取組みと検証 4) 市議会議員および委員会構成 4. 報告に対する質疑応答 ※別紙1「主な意見要望等」参照 5. 議会、市政に関するご意見・要望・ご提案など <ol style="list-style-type: none"> 1) 総務文教関連 2) 市民福祉関連 3) 建設水道関連 4) その他 ※別紙1「主な意見要望等」参照 6. 閉会のあいさつ
備考	

【別紙1】主な意見要望等

※回答済み

【市民からの質問】

最近、ホームページを見てくださるかホームページで調べればわかるだろうということをよく耳にするが、井原市でインターネットへ接続できる環境にある戸数がいくらか、また何パーセントの世帯でインターネットへ接続できる環境にあるのか教えていただきたい。野上だけでも良い。

80%以上あるのなら、今までの話でよいが、そんなに環境整備はできていないと思っているが、市民みんながインターネット視聴者ではないので、その辺りの配慮もしてほしい。

【議会からの回答】

細かな数字については、プライベートな話も含みますので、議会ではインターネットへ接続できる環境が井原市でどれくらいあるかは把握できておりません。

説明の中で、インターネットを見ていただければわかりますよということを言っていますが、インターネットが不得手であるとか、そのような環境を持たれていない方のために、市当局も市議会もどうしたら皆様に上手に伝わるかを考えているところです。最近では、インターネットが流行していますが、それだけで市民の皆さまに伝わるという理解はしておりません。

【市民からの質問】

市民の声を聴く会に出てきた市民の声を配布していただいているが、野上だけの内容になっている。井原市全体の回答をお知らせするのが、井原市全体のためになるのではないか。

【議会からの回答】

ホームページ上では、全地区の内容が閲覧できるようになっています。しかし、紙では、各地区の代表の方へその地区で話した内容のみを渡している状況です。

【市民からの提案】

他地区の情報も報告してもらった方が井原市のためになると思う。

【市民からの質問】

井原放送は神辺地域へエリア拡大していっており、これは各地域の自己資金でおこなっているということであるが、神辺のどこの地域が要望されたか。

前の社長は私に第三セクターと言われていたが、今の社長は第三セクターではないと言われているが、井原放送というのはどういうふうになっているか。

【議会からの回答】

立ち上げ当時は、井原市から補助金という形かどうかわかりませんが、お金が投下されたことはありますが、それ以降、井原放送の運営資金としてお金が投下されたことはないと思っています。第三セクターというのは、井原市が立ち上げ時に出資しているので第三セクターと言っています。

それから、井原放送が神辺地域へエリア拡大していくことに対して、市がどうのこう

のと言えるところではないと思っています。

【市民からの質問】

神辺地域の方が井原放送を引いてくれという話をしたが、井原放送は引けないという回答しているようである。そういう地域もある。
第三セクターであれば、把握していると思う。

【議会からの回答】

第三セクターではありますが、経営に関して市や議会が関与する程出資している状況ではないので、これについては井原放送の問題なので、井原放送へ確認していただきたいと思います。

5. 議会、市政に関するご意見・要望・ご提案など

【市民からの質問】

小田川に砂利が堆積して浅くなり、雨がいっぺんに降るというゲリラ豪雨がよくあるが、大雨が降るとすぐに水位が上がり危険を感じる。小田川の砂を削るなど改良工事を要望してほしい。

【議会からの回答】

小田川は一級河川でありまして、川の管理については国に代わって岡山県が行っています。市の方でということにはなりません、県とも協議しながら河川の改修や浚渫（しゅんせつ）に関して話をしていく必要があると思っています。災害が起こった場合はすぐに対応をしていく必要がありますが、災害の可能性のある個所の改修につきましても、すぐに全部をとということにはならないと思っています。改修計画に則って進めていかれると思いますので、井原市としては要望をだしていくことにとどまるとしています。

ゲリラ豪雨対策のための浚渫工事に関しては、県の事業になりますので、こんな要望がでたよということを建設経済部へ報告したいと思います。

【市民からの要望】

ごみの不法投棄の監視を行っていただいているが、涼しいところで休むのではなくもっときめ細かく監視してほしい。

【市民からの情報提供】

有害鳥獣駆除について、美作市作東町へツキノワグマの講習に行ってきた。ツキノワグマは、岡山県から島根県にかけて、2009年の調査では、450頭～1290頭ぐらいいるようである。ツキノワグマは保護獣となっていて、殺してはいけないことになっている。

猿の講習にも行ったが、半年餌を与えて餌付けしている。そうやって一度に50頭ぐらい捕まえるという方法をとられているところもある。また、全部の木を切って猿が来ないようにするという話をしているところもある。

【市民からの質問】

女性会にて活動しているが、いろいろな行事に対して各地区何名という協力要請があり、各地区同じ人数の協力要請がくる。各地域の団体規模を考慮して要請をいただきたい。たとえば、市から防災大会へ各地区何名という依頼がくる。

【議会からの回答】

市の方からの要請分については、各地区の女性会の会員数を考慮して要請人数を検討してほしいということは市へ伝えます。

また、それぞれの活動団体からの要請であれば、要請の仕方も違うと思われるので、それぞれの団体の総会等で言っていただきたい。

※未回答**【市民からの質問】**

個人情報という問題もあるが、井原放送で契約されている方が何名ぐらいいるかは差支えないと思いますので、市議会でも把握していただきたい。

田舎では、インターネットでというのはまだ早いのではと思っている。

【議会からの回答】

送り手と受け手で温度差があるというのは十分承知しておりますので、井原放送でどれくらい見られているかなど、調査できる範囲で調べて報告させていただきます。

また、すべてホームページで見てくださいで済ませるのではなく、例えば議会だよりは8月15日に配布させていただきますが、活字にしての報告もさせていただいていますので、それを見ていただければと思います。

【市民からの質問】

議会中継ということで生放送と録画放送をされているが、録画放送が2回とんだと思う。都合の悪いところはとばしたり、放送しなかったりということをしているのを知っているか。

【議会からの回答】

都合の悪いところをとばしたり、放送しなかったりということがあったかどうか議会では把握していません。また、放送内容に対して議会が関与できるところではないと思っています。編集作業に議会はかかわっていません。

ただ、議会中継として、開会日と閉会日と一般質問の内容を放送していただく契約になっていますので、もし6月議会が正しく放送(当日18時からと翌月曜日に録画放送)されていなかったら大問題なので、後日、井原放送へ確認して回答します。

【市民からの質問】

昨年の質問で「相原公園植栽について、何を植えるのか」という質問に対して、「さくらを植栽します」という回答をいただいておりますが、さくらと言えば「吉野桜」を植えられると思います。本来ここへは吉野桜と書くべきと思っている。

菖蒲園の遊歩道へアジサイを植えている。その周辺一体を明治池公園と言っています。そこを地域のみんなで手入れしている。ここ10年アジサイが咲かない。よく見ると咲かないアジサイが植えてある。アジサイには、ガクアジサイと西洋アジサイがあるがガクアジサイを植えているようである。ガクアジサイは地味な花しか咲かない。一般的には、西洋アジサイを植えると思うが、おそらく、県の事業だと思うが、設計図へは「アジサイ」とだけ書かれていたのではと想像される。

施工業者のミスではないと思うが、こういったことのチェックと指導を条例化するなどしないと予算の食い逃げになってしまう。このアジサイでは今後の管理についても楽しみがないと思っている。確認と今後このようなことが起こらないための検討をしてほしい。

【議会からの回答と質問】

話を聞きますと大変だなあとということを察します。これからの対策としてできることはありますか。

【市民からの回答】

植え替えるしかない。植えたのは10年以上前である。

【議会からの回答】

植栽をする際にそこまで言っていないかもしれないが、今後同様のことが起きないように建設経済部へ話はしておきます。また、これからでも改善できること（例えば西洋アジサイへ植えかえるなど）があれば改善していただけるように働きかけをします。

【市民からの質問】

有害鳥獣対策について、免許がないとできないということだが、免許をとる方法として、野上地区へ出張してきてもらって自治会で人を集めてもらって講習会等をしていただくことができないか。今は猿の被害が非常に多い状況である。

この間、講習に行ったが、とにかく追い払う方法の話ばかりであった。人がそこにいたら出てこないわけなので、駆除する方法を考えないといけないと思っている。

【議会からの回答】

実際にできるかどうかわかりませんが、罾に関する免許を取得しやすくなるように投げかけてみます。

【市民からの意見】

真備・倉敷・岡山・津山で講習・補修授業が行われている。先ほど言われた出張講座をしていただくか、マイクロバスを用意して会場まで送迎していただくなども鳥獣対策の1つと考えているので、その段取りをお願いしたい。何年も話をしているが、一歩も前へ進んでいないと思う。

【市民からの質問】

野上だけではないが、野上は特に高齢化が進んでいる。雨が降った時や雪が降った時など、支障木等が車の通行の邪魔をすることがよくある。安心・安全の街づくりの一環として、行政の方で月に1回とか見守りをしていただければ大変助かる。

【議会からの回答】

見守りに関してどれだけの人と時間をかけることができるかここでお約束すること

はできませんが、ご要望があったことを担当課へ伝えて検討していきます。また、そういう状況になったときには、自治会を通じてでもよろしいと思いますが、速やかに市へ連絡していただければと思います。

【市民の質問】

幹線道路の排水について、落ち葉が詰まって排水がうまくできていない箇所がある。改善作業を進めていただくか、または市から補助金を地域へ出していただき地域が対応するか何らかの対策をしていただきたい。

【議会からの回答】

ご提案をいただいたということで、担当課へ伝えておきます。前向きに検討していきます。

2013年9月3日

井原市議会議長 殿

第1班 班長 上野安是

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	2013年8月9日（金）19時30分～21時30分
開催場所	稲倉地区 「稲倉公民館」
出席議員	上野安是 森本典夫 大滝文則 惣台己吉 西村慎次郎
参加者数	11名
主な意見 要望等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会あいさつ 2. 出席議員自己紹介 3. 井原市議会からの報告 <ol style="list-style-type: none"> 1) 昨年（平成24年1月～12月）の主な活動状況 2) 2月，6月定例会市議会の審議内容 3) 議会基本条例の取組みと検証 4) 市議会議員および委員会構成 4. 報告に対する質疑応答 ※別紙1「主な意見要望等」参照 5. 議会，市政に関するご意見・要望・ご提案など <ol style="list-style-type: none"> 1) 総務文教関連 2) 市民福祉関連 3) 建設水道関連 4) その他 ※別紙1「主な意見要望等」参照 6. 閉会のあいさつ
備考	

【別紙1】主な意見要望等

※回答済み

4. 報告に対する質疑応答

【市民からの質問】

市立定時制高校のあり方について、土地を確保されて移転の準備をされているところであるが、本来井原市ですべき学校なのだろうか？もともとの設立経緯の状況と今は大きく変わっていると思う。市民だけでなく市外からもかなり通われている。

県の方から話があれば検討してまいりたいと書かれているが、県の方へ強く要望して県の方で受けていただくというような働きかけをすべきではないか。

市町村でこういう例はあるか。

【議会からの回答】

今年の春に県の方針というのを出されまして、県南の方では充実しているという言われ方はありませんでしたが、今後新たに公立の定時制高校を県北から重点的に整備していこうという方針を出されました。

井原市からは県へ強く要望を言ってきましたが、県の教育委員会の指針が県北から対応していくということになり、それも平成30年からという話になれば、それまで井原市は待ってられないということになり、今の状況になっています。

井原市立高校の位置づけは、今は当初とは変わっており、学びなおしの施設としていくという方針でやっています。

その成果として、卒業した生徒は就職率100%であります。ただ、これを井原市がすべて持つべきかというのは課題ではありましたが、今通われている生徒を放り出すかということになると、そういうわけにはいかないことと、今の校舎が老朽化で早めに新しいところへ建て直す必要があるとずっと前から検討してきており、この度の判断となりました。確かに市の負担があり、議会でも本当に市立高校が必要かという議論をしてきました。しかし、子どもたちのことを考えて、市長がこのような最終判断をされました。

生徒数は21年から24年までの資料でいくと100人前後で推移しています。

【市民からの質問】

市内の出身者は何人いるか？

【議会からの回答】

資料がないのでわかりませんが、市外の生徒もかなりいます。

【市民からの質問】

中国から飛来してくるPM2.5について、県内に4か所あるということだが、どこにあるか。

【議会からの回答】

この時点では4か所でしたが、今は13か所になっています。総社・児島・玉島などがあり、近隣では笠岡の茂平にあります。

【市民からの質問】

井原市の市民税の税収アップに向けて、何か手を打たれているのか、また企業誘致をされているのか。5月の山陽新聞に県南部へ工場を持ってきたいという記事があった。議会としてどのように取り組まれているのか、考え方としてどのように捉えられているのか。行政視察の内容をみると、そういった内容はないように見える。

【議会からの回答】

企業誘致をどう考えるかということですが、委員会としては建設水道委員会で協議をしています。相手企業とのマッチングというのもありまして、お互いの条件というのがあります。条件が合えば簡単に来ていただけるとは思いますが、ここ何年も企業誘致ができていないということは、少なくとも井原市側の問題もあると思います。全国津々浦々歩いているかということとそこまではできていないと思っています。

企業として、井原に企業を持って来るというメリットを考えると経営者の判断となりますので、井原市からの条件をすべて受け入れていただけるのは難しいことだと思っています。東日本大震災が起きました、井原は安心・安全のまちとしては適地だと思いますが、それ以外の条件・課題もありますので、企業が来ていただける条件が揃えられるかというのは難しいところであります。議会としても検討はしてきているところであります。(二重下線部分は、発言者からの申し出があり、「収入アップ」との表記から現在の表記に訂正しました。)

【市民からの質問】

十数年前になるが、岩倉を測量した。地権者との価格交渉寸前で止まった経緯がある。過去の実態を知っているか。

【議会からの回答】

そういう話を聞いたことがあります、詳しいことはわかりません。

【市民からの提案】

過去の経緯を少し話させていただくと、長野知事の時に、県北にある工業団地がかなり残っていました。そういう状況のときに、石井知事に代わって、県北にある団地を売らないと、今開発している工業団地は凍結ということで、高梁市と井原市（岩倉の工業団地）が凍結になった。

そのまま時代が流れてきまして、東日本大震災以降、山陽側に引き合いが非常に多くなっている。ところが、岡山市も倉敷市も工業団地がありません。それで今は瀬戸内市が脚光を浴びており、3ヶ所の場所で引き合いがたくさんきていて、すべて埋まった状況である。総社市はインターチェンジ付近で造成工事を市のお金でやっており、新見市は市が7割出してでも来てくれと言っている。福山も動いている。鴨方町も課を作って動いており、矢掛も毎年何社か誘致している状況である。

ところが、井原市はほとんど動いていない状況で、課もない状況である。そういうところ（市）に企業から引き合いは絶対に来ない。今、全国の市町村が死に物狂いで補助金を出してでも来てもらうようないろいろな工夫をしている。井原市はパンフレットすら作っているのを見ていない。どういう優遇制度を作っているかもわからない。

市が無理だったら、県がやっていた凍結した岩倉の団地に対して県へなぜ凍結解除を申請しないのかと思う。高梁市は市長が動いているという情報が入っている。ところが井原市は全くその情報が入ってこない。

岩倉はインターチェンジに近いことや地盤もしっかりしていることなど条件は揃っ

(二重下線部分は、発言者からの申し出があり、「昨年3件引き合いがあり」との表記から現在の表記に訂正しました。)

ている。また、市民病院の移転予定地だったところも工業団地として活用するのも良いと思う。今は時代が変わって、用地買収だけでよい。後の造成工事などはする必要がなく企業がしてくれる。

若者の定住とか企業誘致をしていると言っているが、何も動いていない。議会としてもしっかり動いていただきたい。

市長がトップセールスに行かれていると聞かすが、どこへ何を持って行かれているのだろうかという気がする。地図を持って行っても相手にされない。井原市に企業を持って来ることによるメリットをPRするようなパンフレットを作って持って行くべきである。昨年、市民の声を聴く会で、若者の定住対策に関して聴く前に、毎年どれくらい的人数が井原市へ就職しているかということ質問したら、後で回答をいただき、72人の方が就職されたと聞いた。そうすると、1学年400人程度だから、1割～2割程度しか市内へ就職していないことになる。こういう状況が、10年20年経過すると大変なことになる。その対策として助成制度をいくつか手を打たれている。これは大変良い制度だと思う。企業誘致に対してもいろいろ手を打っていただきたい。

【市民からの質問】

職員給与の件で、今回も職員の給与がカットされるということであるが、これはあまり良いことではないと思っている。良い人材が集まらないことになる。良い人材を集めるには、給与はある程度確保すべきではと考えている。また、井原市の給与は決して高くないと思っている。また、議員の給与はなぜカットされなかったのか。

【議会からの回答】

地方交付税が1億円減額になり、これをどうやって確保するのかということで、市長より議会最終日に上程があり、給与の減額ということになった。

市長も最初のあいさつの中で、国がこういう形で一方的に地方交付税を減額して、各自治体で何とかしなさいというのは納得できないと、かなり憤慨されていました。

議員の給与について、今回は審議内容にあがってきませんでした。

【市民からの質問】

がんばる地域応援補助金について、目的がはっきりしていない。組織を創らないと補助金は出さないとされている。組織を創って年間計画を策定して申請・審査されて補助金が出るようになっていて聞いている。どうして組織を創らないと補助金が出ないのか。また、今まで創られている組織はどういう活動をしてどういう成果をあげられているか。

【議会からの回答】

がんばる地域応援補助金ということで、1地区100万円を上限として補助金を出す制度があります。これは新たに「まちづくり協議会」(仮称)という組織を創られて、事業計画を申請・審査され合格した場合に補助金が出されます。今年は5月と7月に審査がありましたが、全地区がだされたわけではないです。

今、この組織が創られていないのが2地区あります。これは、市からの強制ではなく地域活性化のために新たに組織を創って頑張ってもらえないかということです。

【市民からの質問】

自治会・公民館などたくさん組織がある。こういう中で新たに協議会というような組織を創ってそこへお金を出すというのは意味があるかどうか疑問である。

自治会等で地域活性化のために活動しているわけで、その中で問題・課題があれば、市や議員へお願いするなどいろいろな手段はすでにあり、あえて新しい組織を創る必要性があるのかわからない。

【議会からの回答】

今までの過程として、市と地域が話をしている中で、「あれしてくれ、これしてくれ」という要望が出てきても、地域が考えたことに予算が付かなければ何もできなかったわけです。それで、今までは組織とは別にあらたな組織を創って、独自の予算を付けてそれぞれの地域が考えていることをやらしてくれという声が出まして、このようになっています。今までの組織では予算が決められているので、なかなかやりたいことができない状況がありましたが、その対策として組織を創ってそこへ上限100万円を補助しようということになりました。

例えば、木之子は振興協議会というのがあり、それがまちづくり協議会になっています。地域それぞれでやり方がいろいろありますが、より一層具体的にソフト面で何をすれば良いか練っていただき、予算を使っていただき地域活性化に繋げていただきたい。

【市民からの質問】

自治会の役員など活動するのは年寄である。活動自体が同じ人に集中してしまう。結局は同じ人がやるようになる。そこをどう理解しているか。そういう状況も踏まえて、地域住民の理解ができるような方法で事業計画を出していただきたい。

【議会からの回答】

それに先立ってパートナーシップ推進員を各地区に2名割り当てられています。その人を活用して進めていただければと思います。

【市民からの質問】

市から2名出していただいているが、オブザーバーで来ているだけで、全く機能していない。もっと使命感を持って来ていただきたい。

組織を創らないとお金が出ないということであるが、今の各団体が地域活性化のために動き出して、意に沿った事業計画が出てきたら、お金を出していただけるような対応をしてほしい。

例えば稲倉公民館の時でも、市からの一方的な話で、地域住民との協議にならなかった。また、去年5月31日に行われたスポーツDAYについても、市からやれということで依頼がきて、市の職員が走り回って魚津市に勝つことができたが、そこまでなぜする必要があったのか、また、そこまで啓発活動をするのなら今年もやるべきである。

市は、いろいろなことが上から目線である。

市議会議員にお願いしたいのは、腹をくくって市の体質を変えるような対応をお願いしたい。

【議会からの回答】

稲倉公民館の建設に関しては、用地買収・設計から建築という流れでいっています。その都度議会の方へ予算の上程がありまして予算決算委員会で審議していますが、細かな項目単位での精査ができているかということとそこまでできていない状況です。

【市民からの質問】

市議会議員へ「こういう状況です。助けてください。」と言ったら助けていただけるのか。

【議会からの回答】

建設と設備などは予算取りが別建てとなっていて、余ったらそれぞれへ戻していくということになっていて、稲倉公民館でいくらとなっていない状況です。これは法で縛られている部分で、市民の方のご意見もわかりますが、何ともしがたいところでもあります。

【市民からの質問】

稲倉公民館の経験を踏まえて大江公民館の建築については、地域と協議しながらうまくやっているようである。

【議会からの回答】

公民館については済んでしまったが、今後についてもいろいろあろうかと思しますので、何かありましたら、市議会議員に声を掛けてください。地域の方の要望を聴かせていただき、担当課と協議していきます。

パートナーシップ推進員について、十分な対応ができないのであれば、市長が任命しているの、市へ言っていたきたい。職員の変更など対応をしていただければと思います。

5. 議会、市政に関するご意見・要望・ご提案など

【市民からの質問】

自治会の活動と行政とのかかわりについて、自治会は市の行政の下請け機関ではない。何でも自治会や公民館へ依頼すればやってくれるということで進められたら問題である。たとえば、自治会（正しくは婦人部）で募金活動（赤い羽根など）をしてくれるのは本来の自治会活動ではないと思っている。

井原市の自治会女性部と稲倉の婦人会は違うと思うが、どういう系列で依頼がきているのか。もっとわかりやすく統合できるものは、行政の主導で統合しても良いと思う。井原市がやっていることと自治会がやっていることがちぐはぐになっていて、行政でやるべきことと地域でやるべきことを区別してやるべきではないか。

それから、防災士要請の依頼が市からきているが、市が主導で考えてやるべきことではないか。自治会にやってくれる人がいないかと自治会へ依頼することではないのではないか。

【議会からの回答】

赤い羽根や赤十字の募金については、団体が違っていて、社会福祉協議会から話が出てきまして、各地区募金を集めるのに一番良い方法を検討されて、稲倉地区につきましては、女性部がされるということになっているのだと思います。

それから、防災士の養成については、地域のことは地域で守ってほしいという思いで、防災士が各地域にいらっしやれば防災強化にもつながるということで、依頼がきているものだと想像します。

【市民からの質問】

防災士については、地域の人々の生命と財産にかかわることになるので、地域でどうにかしろと言われても誰も手をあげない。やるとすれば、待遇とか位置づけを決めて市としてはこうしますということによって依頼すべきではないか。稲倉の自治会へ投げかけではなく、公募でやっても良いと思う。

【議会からの回答】

防災士について、市長から自治連合会へ要請がきているようであり、必要なら市が要請してやれば良いのではという思いではあると思いますが、その足掛かりとしてこのような呼び掛けがされているものだと思います。稲倉地区内でご検討されて必要という判断となれば誰かを選出していただき、必要という話にならなければ、やらないという選択もあると思います。不明な点があれば、担当課へ相談されてはどうでしょうか。

【市民からの質問】

道路の問題について、言わせていただきます。笠岡井原線（県道）に対して整備が遅れている。市としてどういう活動をされているか。安全面と経済面を考慮すべきではないか。危険な箇所がたくさんある。

県道ではあるが、宮ノ端から消防署の上、葬儀屋のあたりも子どもに自転車で学校へ通えと言えりような道にしてほしい。

【議会の回答】

笠岡井原線については、ご存じのとおり県の管理であります。市が全く動いていないわけではございません。市から県へ都度働きかけをしていると聞いています。

地元地域から県へ要望書を出してはどうでしょうか。

【市民の回答】

去年の9月、自治連合会が岩倉地域の一番大きいカーブのところについて、県知事宛てと市長宛てに出している。

【議会からの回答】

出していない箇所があれば出していただきたい。それで、出して終わりではなく、継続的に確認をしていってはどうでしょうか。その際、市議会議員に同行という要望があれば、遠慮なく言ってください。同行させていただきます。

【市民の意見】

県道なので、井原市民みんな通る道なので、稲倉地区住民だけが通る道ではない。

【議会からの回答】

地元から出していただければ、それが市全体の話になりますので、お手数をおかけしますが、地域から出していただきたいと思ひます。

【市民の意見】

切実な問題なので、ぜひご協力をお願いする。

【市民からの質問】

市議会の放映を井原放送でされているが、一般質問で同じような質問を連発されていることを聴くことがある。市長など執行部の回答も同じ内容で非常に聞きづらい。事前

通告なので、事前に調整をされてはどうか。貴重な時間を使って質問されるわけですから、その時間をより有効に活用すれば良いと思う。改善は無理なのか。

【議会からの回答】

議会運営委員会で検討することになるが、議員も個々で活動している状況にあり、この議会で一般質問したいことを通告書として出していますので、それを議会事務局が調整するというにはなっていない。ということは、誰々議員が同じような質問をしようが、方向を変えて質問しようが、それぞれが考えて質問をしているのが現状でありますので、改善・改革というような動きはできないと思います。

会派の中で事前調整するということはあると思いますが、全体での調整というのは、今はすることはありません。

※未回答

【市民からの質問】

中国から飛来してくるPM2.5について、今年1月、2月の観測値では基準値を超えていないということだが、これは井原市のことか。また、基準値を超えた場合はどうやって市民へ知らせるのか。

【議会からの回答】

基準値を超えた場合は、お知らせくんでお知らせしています。また、携帯を通じてお知らせもしています。

【市民からの質問】

井原市、笠岡市、里庄町で工業出荷額がいくらぐらいかわかるか。

一番は里庄である。里庄は昔から企業誘致をしてきて、その結果が近隣で一番多い工業出荷額に繋がっている。企業誘致などいろいろな対策を今やっていないと他市町村から遅れてしまう。

【議会からの回答】

企業誘致に関しましては、所管が建設水道委員会でありますので、持ち帰らせていただいて、建設水道委員会でいろいろな意見をいただきながらしっかりと検討していきたいと思います。

【市民からの意見】

岩倉工業団地の凍結解除について、まず動いてほしい。

以上

2013年9月3日

井原市議会議長 殿

第1班 班長 上野安是

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	2013年8月17日（土）19時00分～20時40分
開催場所	美星地区 「美星公民館」
出席議員	上野安是 森本典夫 大滝文則 惣台己吉 西村慎次郎
参加者数	70名
主な意見 要望等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会あいさつ 2. 出席議員自己紹介 3. 井原市議会からの報告 <ol style="list-style-type: none"> 1) 昨年（平成24年1月～12月）の主な活動状況 2) 2月、6月定例会市議会の審議内容 3) 議会基本条例の取組みと検証 4) 市議会議員および委員会構成 4. 報告に対する質疑応答 ※別紙1「主な意見要望等」参照 5. 議会、市政に関するご意見・要望・ご提案など <ol style="list-style-type: none"> 1) 総務文教関連 2) 市民福祉関連 3) 建設水道関連 4) その他 ※別紙1「主な意見要望等」参照 6. 閉会のあいさつ
備考	

【別紙1】主な意見要望等

※回答済み

【市民からの質問】

総務文教委員会の所管事務調査に学級崩壊の実情についてという報告がありました。7月の山陽新聞に岡山県は少年非行が最悪と載っていました。地域別に見ると井原市は載っていなかったのが大変うれしかったが、少子高齢化が進む今、地域の子どもたちは地域住民たちで守ろうという取り組みが全国各地で行われている。また、いじめ問題ではテレビの報道であるように、考えられない犯罪が起きていて子どもたちがかわいそうでなりません。井原市でも民生委員のほかに地域と学校を繋ぐ組織というのはあるのか。地域住民が子どもたちの変化に気づいたとき、学校へ繋ぐ・家庭へ繋ぐという組織があるか。

【議会からの回答】

学校側では地域担当という教諭を置いて、地域と交流を図っている状況です。地域の方では、専門のコーディネータが1学区に1人ほしいというのが要望と思いますが、そこまでの対応ができていないのが実情です。学区によってそういった試みをしているということを聞いたことがあります。

また、学校評議員制度が導入されていますので、その中で出てきた課題については、教育委員会などでも対応をしている状況です。

【市民からの質問】

学級崩壊の実情について井原市の状態がどのような状態か教えていただきたい。

【議会からの回答】

2月議会で一般質問したところ、教育委員会から学級崩壊を起こしているクラスはないという報告を受けています。

【市民からの質問】

鬼ヶ嶽温泉の整備が止まっている件について、7～8年ぐらい前までは開発していたが、再開発するということでストップしている状況である。このようにストップしている状況の中、議会としてどのような対応をしているか。

矢掛から宇戸谷までバスが入ってきていたが、最近では乗客も少なくなってきたということで、バスが廃止される恐れもある。温泉が稼働することで、そういった問題も少しは改善すると思われる。

【議会からの回答】

6月議会で美星出身の議員が質問されました。執行部の答弁としては、一般企業が開発するようになっており、市としてなかなか解決策が見いだせない状況であるという回答でした。議員も心を痛めています。そのような状況下で手を打てないのが実情です。このような意見が出たということを経営部へ伝えておきます。

【市民からの要望】

建設予算の配分について質問です。井原市から見ると美星町は末端の地域となるわけ

だが、1000万円とか2000万円という大きな予算ではなく、地域に密着した20万とか30万という修繕費の予算を確保してほしい。

特に現物支給を市へお願いしても2、3年は詰んでいるので順番待ちになると言われる。我々にはこういった小さい工事が役に立つわけなので、そういったところにも目を向けていただきたい。

【議会からの回答】

現物支給について、2～3年待たないとできないということは把握できておりません。年間の金額が決まっており、予算が無くなった時点で支給できない状況になることはあります。2～3年後まで詰んでいるということは考えにくいところでありますので、何か具体的に問題があったことがあれば、教えていただきたい。

【市民からの質問】

以前、現物支給をお願いしたが、お金がないので現物支給していただけなかったことがある。今年、別件で依頼をしたら、2年はかかるような話をいただいた。予算がどれくらいあるかわからないが、行政へ働きかけをしていただきたい。

【議会からの回答】

生活道路を改修するとか補修するとかということに対して予算を付けていただくということは大変大事だと思います。議会としても、このような声があったことを市へ伝えていきたいと思います。

また、これは依頼する時期も影響すると思っています。年度初めであれば、執行前なので対応していただけるとは思います。年度後半になると予算がないので来年度という話になると思います。そういう場合でも来年度早急に対応しますという回答が返ってくるのがほとんどではないかと思いますが、2～3年先まで無理というのはどうかと思いますので、市へも伝えていきたいと思っています。具体的な案件を教えていただければ、それに対して確認することも可能です。

【市民からの質問】

職員の給与カットについて、なぜそのようなことになったのか。

【議会からの回答】

地方交付税を国からいただいています。これが約1億円減額となりました。その1億円をどこから持って来るかということになって、職員の給与をカットするか、市民サービスを1億円減らすかという選択となり、市長が職員の給与カットという苦渋の決断をされました。国が国家公務員の給与カットすることを決めて、地方公務員も給与カットしなさいと言ってきた結果です。

【市民からの質問】

市長選と市議会議員を同時選挙してはどうか。選挙費用が2000万円ぐらい減る。それなのになぜ同時選挙しないのか。できないからしないというのはわかっているが、地方選挙ぐらいできるのではないか。

【議会からの回答】

井原市も同時選挙をやっていましたが、ご存じのとおり不慮の事故で今の状況になっています。

同時選挙する方法は、市長が市議会議員選挙の時に市長が辞めて新人が立候補すれば同時選挙になります。また、来年の夏に市長選がありますが、その時に議会が自主的に

辞めて市長の選挙に合わせれば、同時選挙ができます。

【市民からの意見】

そうすれば良いのではないか。

【市民からの意見】

消費税が5%から8%にあがる。国に頼まないとしかたないが、3%上げるのではなく1%だけに抑えていただきたい。逆に20%ぐらい大きく引き上げてはどうか。市から国へかけあっていただきたい。大変厳しい状況であるなら、市長選と市議会議員選挙を同時にして2000万円でも費用削減してはどうかと思う。

【議会からの回答】

ご提言として承っておきます。

【市民からの質問】

畑地かんがい給水について、「直してほしい」と言っても、市は「直った」と言われる。しかし、実際には直っていない。

また、水が非常に汚い。それはどうしてか。しょうゆ色の水が20分ぐらい出る。浄水器が壊れているのか、使う水の量が少ないので水が腐っているのか。そういうことも含めて改善してほしい。

【議会からの回答】

畑かんの管の漏水については、執行部はその都度対応をしていると言われていますが、変えるタイミングが漏水のあったところから変えていたり、耐用年数になったところから変えていっているという現実があるようで、早めに交換ができていない状況です。

水が汚れているというのは、いろいろな要因があろうかと思しますので、この場での回答はできかねます。執行部の担当課へ伝えておくようにします。

1年前の回答では、「管路の管理に関しましては、基幹水利ストックマネジメント事業により機能診断を行い、対策工事等を実施したいと考えています」という一般的な回答になっていますが、具体的に「ここを直してくれ」という話をしていますか。文書で出して文書で回答していただくようにしていけば、形に残るので良いと思う。

水が濁っている話は担当課へ話をしているか。議会からも市へ話はしておきますが、地域からもぜひ要望として出していただきたい。

畑かんについて、大規模修繕が予定されています。中山間総合整備事業の中で計画が進められようとしています。

【市民からの質問】

畑かんについて、用紙で申請してくださいということだったが、壊れてすぐに直していただく必要があるのに、そんなことは言っていない。文書で出したら必ずしていただけるのか。文書で出しても予算がないのでと断られるのではないか。

【議会からの回答】

口頭で言うと口頭でしか回答が返って来ず何も残りません。文書で依頼をすると市長

まで文書が上がっていき、担当課へ降りていきますので、担当課からもちろんとした回答が出てきて文書に残ります。そうすると、後になってもいつだれが申請してどの担当者がどういう回答をしたかというのがわかりますので、文書で申請するというのは良いことだと思います。

ただ、急ぐことに対しては口頭で言って対応をお願いする必要があります。そうでないことに対しては、文書を出して文書で回答をいただければと思います。

【市民からの質問】

3年前に直してくれと言った時に、予算がないからダメですという回答だった。それぐらいの予算もないのか。

【議会からの回答】

3年前に依頼したことが、まだ直っていないというのは議会としても心外ではあるが、畑かんに限らず道路整備についてもたくさんあるようですので、継続的に議会も含めて市へ投げかけはしていく必要があると思っています。

【市民からの質問】

子ども教育について、学校と教育委員会だけでなく、親の責任もだいぶあると思っています。当事者だけで解決するとかではなく、親に対しても厳しい処置をする必要があると思う。

【議会からの回答】

いじめ問題については、当事者だけでなく親の問題があると思っています。また、地域の人とのふれあいも少なくなっている問題もあると思っていますので、社会全体で考えていくべき問題と考えています。

【市民からの質問】

協働のまちづくりで、「赤ちゃん訪問したい」という要望をしたら、「予算がないのでできない」という話になった。美星地区では毎年20～30名ぐらいしか赤ちゃんが産まれてない状況で、1人あたり1000円ぐらいの予算を付けていただけないか。

赤ちゃんを抱えて家庭で悩んでいらっしゃるお母さんがいて、お祝いを兼ねて訪問して地域交流もしていきたいと考えているという思いで、お願いをしたがダメだった。

この度は、地区社協で快く受け入れていただき、予算をやりくりしていただけたので、これから民生委員会で検討するようになっている。議会では子育てをどのように検討されているかお伺いしたい。

【議会からの回答】

民生委員会で話をされたということは、井原市の社会福祉協議会からの予算という話なので、井原市の予算とは別の話だと思います。

【市民からの質問】

子育ての予算は社会福祉協議会でないとダメなのか。井原市の方では予算の確保はできないのか。

【議会からの回答】

児童福祉については、市民福祉委員会で検討しています。美星のお子様のために10

00円ということにはならず、井原市全体ですということになるかと思えます。井原市全体で毎年200名ぐらいしかいませんが、井原市全体ですることになればできるかと思えます。

【市民からの意見】

全体で検討していただけたらありがたい。

【議会からの回答】

市の組織として子育て支援課があります。子育て支援課へ働きかけをしてみます。

【市民からの質問】

自治会長へ市から広報など書類が来るが、同じ時期に複数回来る。1通にまとめて送付していただけないか。1度に来ていただけると何回も配るという手間が省ける。

【議会からの回答】

できるだけ統一するようにしているようですが、各部署から出た資料をそれぞれに送付しているのが実情です。この資料とこの資料と一緒に送付してもらえないかと具体的に言っていただければ、市へ一緒にならないかという確認はできるかと思えます。

【市民からの意見】

担当者がいないから待ってくれとか担当者が変わったからもう一度話を聞かせてくれとか言われることがあるが、これは職員の怠慢だと思う。これはちゃんと引き継ぐべきである。担当者がいなくても代理が対応できるようにしてほしい。

【市民からの要望】

大規模農道の整備について伺う。市道の中では主要道と考えている。合併前は草刈りや側溝の整備はできていたが、現状は草刈りや側溝の整備ができていない状況である。矢掛町に入るときちゃんと整備されている。ぜひとも整備をしていただきたい。

【議会からの確認】

具体的な場所があるか。

【市民からの回答】

一般的な話。

【議会からの回答】

要望として承ります。

※未回答

【市民からの要望】

鳥獣対策について、イノシシ・サルも多いがヌートリアが非常に多い。矢掛町では捕獲容器を作成して今のところ700匹を捕獲した。井原市も同様の容器を作成し捕獲してヌートリアを少なくしていただきたい。

【議会からの回答】

イノシシ・サル・ヌートリアなど鳥獣被害に関して、市民の声を聴く会で行くところ行くところで話を伺います。担当の常任委員会である建設水道委員会で、ヌートリアの罾について調べて、なるべく早い導入ができるように市へ投げかけていきます。

【市民からの要望】

鉄砲、罾の講習だが、岡山へ行っての講習となっている。少なくとも県民局ぐらいで講習していただくよう市へ要請していただきたい。

【議会からの回答】

岡山や津山などで年に1～2回行われているようですが、利便性を加味して県民局単位でできないか建設水道委員会で検討し、市の方へ投げかけていきます。

【市民からの質問】

昨年、第2回市民の声を聴く会が開催されたが、そこで出た意見を今日聴きたいのではなく、意見に対する結果がどうなったかを聴きたい。この会へ来ても回答が聞けないから参加者も少なくなってきた。結果をどのように伝えられているか。

【議会からの質問】

昨年の担当班が持ち帰っている事項について、担当部署へ伝えていて対応は行っていると思いますが、その結果のフォローまでできていない状況です。今後フォローまでしていけるように検討をしていきます。

議会で持ち帰って議論した結果は2～3回に分けて担当地区の代表者へ返している状況です。しかし、その先どのようにされているかまでは関与していない状況です。

【市民からのご意見】

きめ細かい回答をお願いしたい。

【議会からの回答】

大変貴重なご意見と思います。今後、持ち帰ったものがどのようになったかできるだけわかるように回答できるよう努めていきます。

以上

2013年9月3日

井原市議会議長 殿

第1班 班長 上野安是

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	2013年8月28日（水）19時30分～21時10分
開催場所	井原地区 「井原公民館」
出席議員	上野安是 森本典夫 大滝文則 惣台己吉 西村慎次郎
参加者数	50名
主な意見 要望等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会あいさつ 2. 出席議員自己紹介 3. 井原市議会からの報告 <ol style="list-style-type: none"> 1) 昨年（平成24年1月～12月）の主な活動状況 2) 2月、6月定例会市議会の審議内容 3) 議会基本条例の取組みと検証 4) 市議会議員および委員会構成 4. 報告に対する質疑応答 ※別紙1「主な意見要望等」参照 5. 議会、市政に関するご意見・要望・ご提案など <ol style="list-style-type: none"> 1) 総務文教関連 2) 市民福祉関連 3) 建設水道関連 4) その他 ※別紙1「主な意見要望等」参照 6. 閉会のあいさつ
備考	

【別紙1】主な意見要望等

※回答済み

【市民からの質問】

市の地方公務員の給与削減について、25年7月～26年3月までとなっているが、他県あるいは国家公務員の給与と比較してどれくらい差があったのか、その内容によって削減されたのか。

【議会からの回答】

国がこの4月に国家公務員の給与を下げましたので、ラスパイレス指数が約107%となりました。それに伴い、地方交付税が約1億円減額になりました。その1億円をどうするかということで、市長も悩まれた結果、市民サービスを低下させるわけにはいかないということで、職員の給与削減でカバーするという決断をされました。

【市民からの質問】

地方公務員の給与削減は、復興財源には関係ないのか。

【議会からの回答】

関係ありません。

【市民からの質問】

永続的ではないということか。

【議会からの回答】

この議案を議論したときにも、市長は「国が一方向的に決めてきたので、たいへん遺憾である」ということを言われていました。議員からも「来年度以降もカットということにならないようにしてください」と、市長会などを通じて訴えてほしいということをおっしゃっています。

【市民からの質問】

井原市立高校の県立移管について、県から話があれば検討するということが、逆に県の方へ井原市からお願いするというお考えはないか。箱モノができれば、さらに井原市の財政負担も大きくなると思う。

【議会からの回答】

井原市立高校の県立移管については、以前から話がありました。ところが、今年4月に県の教育委員会が指針として、まず県北の定時制高校を充実させるということを出されました。ということで、井原市がいくら頑張っても、県が井原市の話聞いてもらえるのは、三十何年ごろになるとのことでした。昨今の市立高校のあり方は、設立当初とは違って、学びなおしの施設として受け入れている状況であります。そういう定時制高校を井原市が持つべきかどうかということもいろいろ議論されてきましたが、老朽化が進み急傾斜地に建てられている校舎の建て替えをそこまで待たないということで、移転先を探していた状況でした。今回幸いにも適地が見つかり、確かに井原市の負担が大きいです。今学校へ通っている子どもたちや学校の在り方を考えて、井原市長が今回の結論を出されました。井原の税金が使われないようになんとかならないかという働きかけをしてきましたが、今回の決断となりました。

【市民からの質問】

市立高校の市の税金の使用について、現在の用地確保で鳥越紡機株式会社の跡地と聞いているが、一般業者（不動産業者）と市の購入金額がかなりの開きがあるようだが、詳しいことを公開できないか。

【議会からの回答】

井原市の近隣の状況を把握していませんが、基本的には固定資産の評価額に基づき係数を掛けて算出しています。近隣の状況も踏まえて、不動産鑑定士の評価額に基づいて係数をかけて算出されています。民間の取引になりますと、値引き等もありますのでいくらかは安くなるとは思いますが、市が出された金額は、適正な計算式に基づいて出された金額だと聞いています。

【市民からの要望】

私らが聞いているところでは、市がかなり高い金額で買っていないかという気がする。不動産屋が5～6千万円だと見積もられたのに、市は約1億円で購入されている。井森神社を市へ貸しているが、土地評価が下がったということで賃貸料が下げられた。鳥越紡機株式会社の跡地も大きな道路に面していないので、土地の評価もずいぶん下がると思う。

学校を建てることは賛成であるが、土地の購入価格については、1円でも無駄な税金を使うということはあってはならないと思うので、こういう費用については一般公開してほしい。

【議会からの回答】

土地の価格については、帳簿上から割り出しているもので、順当ではないかと思っています。新年度予算審議の際に出たのは、土地そのものは1億240万円で購入しています。それから、地質調査として2450万円予算計上されています。議会の中でも高いのではないかという議論をしましたが、帳簿上の金額から算出しているということですので、議会としても妥当であると判断しました。

【市民からの質問】

学校施設の費用についてはいくらぐらいの予算額になるか。

【議会からの回答】

学校施設については、これからでございます。まだ設計段階でそれが終われば予算として出てくると思います。

【市民からの質問】

市立高校の敷地の問題について、売主が1億240万円出さないと売らないと言ったのではないか。不動産屋の見積額と500万円～1千万円程度の違いならまだ良いが、倍の違いがある。それを議会が承認したのか。市長も議会も同罪である。

【議会からの回答】

帳簿上1平方メートルがいくらという基準に基づいて評価額を持って計算している。それがすごい高いということではないと議会としては理解し、了解しました。

【市民からの質問】

出入りの道が狭いところで簿価は高くないのでは。

【議会からの回答】

帳簿上の評価額がそうになっていました。

【市民からの質問】

どの部署が交渉したのか。

【議会からの回答】

教育委員会が担当部署で、教育長と庶務課が担当となる。

【市民からの質問】

※市立高校

何㎡あるか。

【市民から】

大雑把に言うと5千坪。

【市民からの質問】

坪20万円か。高いなあ。

【議会からの回答】

簿価の金額と土地の面積を掛け合わせたらこの金額になるということです。この評価で今までも税金をとっていたのだと思います。

【市民からの質問】

木造住宅の耐震診断に関する助成制度についてお伺いする。耐震診断として4万円、耐震改修に対して23%補助していただけるということだが、実際の耐震診断にどれくらいの費用がかかるのか。また、業者はどこへ依頼すればよいか。市の方から指定していただけるのか。それから、耐震改修業者も市から紹介していただけるのか。

【議会からの回答】

専門的になると思いますので、希望がある方は市へ行って相談していただけたら、市から専門の業者を紹介していただけます。耐震診断料については、今までの実績としては、4万円（税抜き）で収まっています。耐震改修費用については、改修規模により金額が異なりますので、いくらというお答えはできません。

5. 議会、市政に関する意見交換

【市民からの要望】

市民病院の待合室の椅子だが、公民館の椅子よりちょっとよい方であるが、体調が悪い人が座る椅子としてはどうかと思う。リクライニングするような椅子にできないか。体調が悪い人が安静に待てるような環境にしてもらえないか。そうすることでマスコミも宣伝してくれて、井原市民病院の宣伝にもなるし、井原市もアピールできると思う。これを前向きに捉えていただきたい。

【議会からの回答】

大変貴重なご提言ありがとうございます。持ち帰りまして執行部へお伝えさせていただきます。

【市民からの質問】

市の職員の39歳の年収はいくらか。市内の企業の平均年収はいくらか。

【議会からの回答】

今すぐにはわかりません。

【市民からの質問】

私知っているのは、市の職員の39歳の年収は600万円ぐらいで、市内の企業の平均年収は300万円～320万円ぐらいである。倍ぐらい違う。もうちょっと考える必要があるのではないか。

また、井原市は発展していると思われているか、後退していると思われているか。議員はどう思われているか。

井原市はどろ船で、市長は船長、議員は船員。このままでは、井原は沈没してしまう。もう5年～8年したら井原商店街からは商店が無くなってしまうと思う。町の発展は産業を活性化しないとイケない。そうすれば、ひとりでに店ができる。企業誘致して若年労働者を増やさないとイケない。年金生活者ばかりになる。議会は10人ぐらいでプロジェクトチームを作って全国へ企業誘致に走りなさい。矢掛町長は1か月のうち20日ぐらい県庁へ出張している。井原市長は、めったに見ない。

限界集落が井原市でもかなりできている。井原町内でも子どもがいない部落ができている。限界集落に対する対策は議会としてどのように考えているか。

【議会からの回答】

企業誘致については、ご指摘のとおり課題と認識しています。

担当の課は商工観光課であります。専門部署を設けていない状況で、議会からも話をしています。全面的にそれに向かってやっていけない状況だと認識しています。

企業も井原に会社を持ってくるメリットがあるかどうか考えた時に井原でないといけないうことになっていません。井原市もそういうアピールができていない状況です。

議会としてもしっかり検討しながら、1社でも井原市にきていただけるように動いていきたいと思えます。

【市民からの質問】

企業誘致を担当する課はあるか。

【議会からの回答】

企業誘致を専門に行っている課はありませんが、担当する課はあります。

【市民からの質問】

企業誘致の実績はあるか。

【議会からの回答】

ご存じのようにありません。議会から「矢掛町に見習え」という提言が出たこともありますが、現状は今のところ全く企業誘致ができていない状況です。議員1人ひとりが

このご意見を肝に命じて今後どうするか検討していきたいと思ひますし、執行部へも伝えていきます。

発展しているかという話がありましたが、人口が減っている状況ですので発展していると言える状況ではありません。若年層の人口増加に向けて議会としても執行部と力を合わせて対応をしていきます。

【市民からの質問】

議会も執行部と一緒に企業誘致に動くべきだ。労働者がいない町が発展したためしがない。

【議会からの回答】

貴重なご意見として承っておきます。

限界集落についての対応についても、たいへん深刻な課題となっています。冠婚葬祭の行事ができない状況にもなっています。執行部としても気をつかって目を向けている状況ではありますが、歯止めがきいていない状況です。議会としてもどうしていくべきか今までも検討してきていますが、今後もより強めていきたいと思ひます。

【市民からの要望】

農地の転用許可制度について質問させていただきます。香川県では農地の転用を毎月しているが、井原市は8月31日の年1回しかしていない。家を建てようとしても1年間待たないといけない状況である。農業委員会で審査するのでしょうか、農業委員会というのは農業の推進や農業の活性化を趣旨にされており、それを反対するようなことなので許可が1年に1回とされているのだと思ひます。1年も待たされたらよそへ行ってしまふ。

【議会からの回答】

農地の転用制度が香川県と岡山県で異なるかもしれませんが、ご提言の内容を担当課である農林課へ伝えておきます。

【市民からの要望】

昨年12月21日に市民生活部長へ定住促進住宅の要望書を出した。今、猪清には170世帯あるが、あと15年すると人口は半分になる。そうになると自治会活動ができなくなるし、消防活動もできなくなる。市営住宅の近くへ菜園付きの定住できる家を安く建てていただきたいという要望をしたが、良い回答がなかった。議員のお力添えで、1件でも2件でも良いので、建てていただきたい。

【議会からの回答】

井原市の考え方としては、四季が丘やさくら団地が埋まっていない状況とか、市内の市営住宅の状況を言われたと思ひます。すばらしい提案であると思ひますが、議会としてすぐにやりましょうということも難しい状況であります。今後の課題ということで持ち帰らせていただきます。

【市民からの質問】

平成 25 年度予算について、商工費が 1.8%となっている。これだけの予算では商工業を活性化しようとしても無理である。商工費より労務費の方が多い。商工業を発展させようとしたら 1.8%の予算では少なすぎる。

【議会からの回答】

一般会計予算の検討の際には今言われたことを踏まえて検討していきたいと思いません。

【市民からの質問】

国はでたらめで、大借金しているのに、国会議員は自分たちの責任と感じていない。地方交付税を減らすというのはこれが基だと思う。借金してでも使うというのは理解できない。自治会では赤字にならないようにしているが、県や国は借金してでもどんどん使っている。赤字を減らす対策をするのが一番である。

公務員のボーナスについて、ボーナスはもともと民間の会社が考えたことで、民間は給与をたくさん出すことができず、儲かった時には社員に分配する形がボーナスであった。しかし、いつの間にか公務員もボーナスをとられて、何のボーナスが出ているのか不思議に思う。

公務員は一般市民よりちょっと低めの給与の方がいいのではと思う。公務員はボランティア精神のある人を雇っていただきたい。

道路に草がたくさん生えているが、行政の見回りを 3 か月か半年に 1 回ぐらい草刈りをしていただけたらきれいになると思う。

川の砂がたまっている。ゲリラ豪雨があるとすぐに水があふれてしまう。川へ歩道をつけていただいているが、さくら橋のところが少し切れている。続けて歩道をつけてほしい。

【議会からの回答】

いろいろご提言ありがとうございます。貴重なご提言として持ち帰らせていただきます。

※未回答

【市民からの質問】

提案箱について、1 度出させていただいたが、「審議します」というはがきをいただいたのみで、結果の報告がなかった。3 月の末に物を見て私の提案が通ったのかなということはわかった。住所と氏名を書いて出しているのに、最終結果を報告していただくと気持ちが良い。少ない原因は何かあるわけで、市民の提案に対してきちっと回答を返していけば、もっともっと提案は増えてくると思う。

【議会からの回答】

市長への提案箱は、本庁・芳井支所・美星支所へ置いています。議会への提案箱は公民館など市内 24 か所へ置いている状況です。それを毎月 15 日と月末に議員で分担して回収をしています。それを広聴広報委員会で担当委員会を決定し、常任委員会で検討をして、その結果を提案を書いていた方へ返すルールにはなっています。ただ、結果の連絡がなかったということですので、持ち帰りましてその経緯を確認しまして、

今後そのようなことがないようにしていきたいと思います。

【市民からの質問】

車いすの人がタクシーを利用して病院へ行って、その病院だけで帰るのではなく違う病院へ寄るといっている人がいる。病院から次の病院までの移動に、補助を使って移動しようとする現状は補助が使えない。家から病院までの往復は補助が適用されるが、病院から病院の移動は適用されないようである。病院から病院の移動も補助が適用できるようにしてほしい。

【議会からの回答】

今の決められている補助の要件が自宅から病院の往復になっているのだと思います。病院から病院の移動についても補助が使えないかというご質問だと思いますが、システム的なことがあったり、補助の要件の緩和できるかということもあると思いますので、持ち帰らせていただき、担当となる市民福祉委員会で検討させていただき、そのような方が楽に通院できるように検討を進めていきたいと思っています。

以上

様式第1号（第11条関係）

平成25年9月5日

井原市議会議長 宮地 俊則 殿

第2班 班長 大鳴 二郎

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	平成25年8月18日（木）19時00分～20時40分
開催場所	出部地区 「出部公民館」
出席議員	大鳴二郎 簗戸利昭 河合謙治 三宅文雄 森下金三
参加者数	29名
主な意見 要望等	※回答済み 別紙のとおり ※未回答 別紙のとおり
備考	

〈回答済み〉

〈質疑〉

6月定例議会の最終日で、職員・市長などの給料を下げたが、何故、議員は下げないのか。議員も職員より先に下げると言うべきではないのか。

〈回答〉

国から国家公務員を下げたので、地方公務員も下げてほしいと言うことで、市長も色々考えた上で、市の職員のみ、涙をのんで下げたもので、議会には、要請がなかったもので、今後、そのような話があったと言う事で報告致します。

〈質疑〉

市立高校の件では、今後の井原市のビジョンにおいて、市立高校にお金を使うより、他に使った方がいいのではないのか。例えば、働ける場を増やした方がいいのではないのか。市立高校もあった方がいいが、それよりも、優良な会社に入って来てもらった方がよいのではないのか。

〈回答〉

市立高校については、予算化されています。

矢掛では、県に職員を出向させて、条件の合うものを探させており、約十数社が来ている。井原も見習って行かないといけないと思います。

〈質疑〉

6月9日に井原市防災訓練があったが、市長は、防災服なのに、議長はスーツ姿で、本部席にいたし、議員も3人ほどしかいなかったが、議員の防災意識はどうなっているのか。この辺りは、防災意識が少なく、心に油断があるのでは。

〈回答〉

予定が重なっている議員もいると思いますが、なるべく防災訓練に参加する様に、帰って報告します。

〈質疑〉

がんばる地域応援補助金について、1学区100万円を上限に13学区に交付するものを人口割にすべきではないのか。市民から言うよりは、市から各地区に、これをしてくれと言う方が早くいいのではないのか。企画を出さないと出さないのは、どうなんですか。予算取りをしているのに、出さないのはおかしいのではないのか。

〈回答〉

上限が100万円と言うことなので、どこまで使うかと言うこともあり、また、人口割で考えるのもいいことではないか。活用してはじめて補助金が出るのが、いいのではないか。

企画書を出さないのに予算を出すのもおかしいことですが、まちづくりについては、これからのことなので、今後、色々な案が出て来るのではないかと思います。

〈質疑〉

空家バンクについても、コーディネートの方がいて対応していくのがよいのではないかと。市としても、所有者にまかせっきりと言うのもよくないのではないかと。

〈回答〉

所有者との話し合いがいいのではないかと思います。帰って報告します。

〈質疑〉

議長・副議長選について、決まっていることをするな。議員から聞いたのだが、先輩議員から言われたので、その人に投票したと言った。議員は、10人でいい。

〈回答〉

よく考えて選ぶことがいいことである。

〈質疑〉

国保をなんで上げたのか、皆困っている。上げたことに対し、翌年1.6億円黒字になっている。

〈回答〉

あのままでは、基金が無くなってしまふところであった。国保の入出金は、不確定なところが多く、いつどうなるかわからない。井原市でも、約1.2万人の人達から集められており、非常に重要であることは認識しているので、ご理解願います。

〈未回答〉

〈質疑〉

政務調査費は、どんなものに使うのか。インターネットの接続にも使えるのか。ある議員が、フェイスブックで、誹謗中傷しているものに、金をだすのは、おかしい。ましてや、一度、皆の前でことわったのに、また、インターネットに書いている。この議員の資質を徹底的に問わなければいけないのではないのか。

〈回答〉

議員の研修（勉強）に行く時、活動・市政について報告する時、要望・意見の聴取・住民相談の活動をする時、活動に必要な図書・資料の購入をする時、インターネットの接続などにも使えます。

〈質疑〉

市立高校について、昭和39年に開校したと思うが、その当時、500人弱程度生徒がいた。この頃、繊維工業が盛んなころであったが、現在は、生徒数において市外が半分以上ではないのか。また、2月定例議会で、固定資産価格の8万円／坪で市が購入されたのか。予算委員会で、ある議員が、それは、高いのではないかとと言われていましたが、突然、●●●●跡が出てきている。教育長が一人で行って、●●●●の人と約束していると聞いているが、これは、利権がらみではないのかと言うような声が出ている。一般的には、3万円／坪くらいではないのか。出来れば、旧精研や井原中学校も空いている。一般会計から10億出すのは、おすぎる。市民税・県民税を払っている者としては、納得できない。議員の何人かは、反対していたが、残りの議員は、何も質問もしていないのはおかしい。これまで、3年ほど議会を見に行っているが、ずっとこのような状態で、そんな議員はいらない。選挙のし直しをすべきだ。この予算について、凍結して下さい。

〈回答〉

坪当りは忘れましたが、㎡単価2.3万円ちょっとで、約8万円／坪当りです。現在、100名ほどの生徒がいる。その内、市内が約半分ほどと聞いている。県では、高校を県北につくる予定はあるが、県南ではない。言い方は悪いが、学びなおしの施設として受け入れていると聞いている。市の総額予算では、約372億円の予算を行っており、大変だと思われるが、これからは、議員もより一層勉強して質問されると思いますので、貴重な意見、ありがとうございます。

〈質疑〉

市立高校の放送分の2月28日の際、生放送では出したが、再放送は編集（議員の質問をカット）して流している（市長の答弁のみ）井原放送に聞いたら、市から要請がありましたので、流せませんでしたと言った。質問した議員には、謝りに行っている。1,890円／月払っているのに、うそを流さないように、徹底的に追及してほしい。

〈質疑〉

企業誘致の件で、四季が丘に●●●●が工場（身障者50～60人程度）を作りたいと言うのがあった。これは、市のトップで、交通量が増えるのでダメと決めてしまっている。これは、本当なのか調べてほしい。

〈回答〉

持ち帰って聞きます。

〈質疑〉

現在、中学校3年生まで、医療費が無料になっているが、学校だけがをすると、一時的に保護者の負担になっている。数ヶ月後に戻って来るのだが、一般社会の労災などは、自己負担ではない。一時的でも、保護者の負担を無くしてほしい。

〈回答〉

調べて、回答させて下さい。

〈質疑〉

場外舟券売場について、要望したい。

1. 工程表を見せてほしい。
2. 地元自治会とは、どこまでを言うのか。
3. 開業は、25年度中にするということだが、スケジュール表を見せてほしい。

環境委員会を設置するとのことだが、環境委員会で決めることが多いのに、来年3/31に開業するのに対し、スケジュールが無いのは、議員は、何をしているのか。

〈回答〉

市としては、3/31までに開業するとしかしらない。地元自治会とは、どこまでかわからないので、どこまでを指すのか、確認します。スケジュール表はあるが、日付が入っていない。

市に確認して返事します。

様式第1号（第11条関係）

平成25年9月5日

井原市議会議長 宮地 俊則 殿

第2班 班長 大鳴 二郎

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	平成25年8月24日（土）19時00分～20時30分
開催場所	青野地区 「JA岡山西井原北支店青野店舗」
出席議員	大鳴二郎 簗戸利昭 河合謙治 三宅文雄 森下金三
参加者数	28名
主な意見 要望等	※回答済み 別紙のとおり ※未回答 別紙のとおり
備考	

〈回答済み〉

〈質疑〉

提案箱設置に関して、建設的な意見は、無記名でも誹謗中傷でなければいいのでは。

〈回答〉

基本的には、返事を返すと言うことなのですが、建設的な意見もあるので、広聴広報委員会で検討中で、まだ決定していない。

〈質疑〉

定住促進について、市として色々とされていると思うが、どんな実績が上がっているのか数値で表してほしい。思い切った政策は出来ないのか。

〈回答〉

四季ヶ丘団地（81.7%）、芳井さくら団地（74.2%）があり、市営住宅も空いている、そこを使用されている。

〈質疑〉

応援補助金が100万円出ているが、ソフト面のみでハード面も合わせて市の行政としてもしてもらえないといけない。青野地区の人口も922人（8年前）から795人（現在）の13%強減少している。子供の数もかなり減っている。よって、今からでももっと定住促進を進めないといけない。

島根県津和野町では、5億円を過疎債に当てている。家賃は3万/月で、25年住むと家がもらえる。

井原でもやっていかないと、今後、大変なことになる。青野地区では、ぶどうを作るのに地区外より若者が何人か来ている。その内3組の人が青野に住んでやりたいと言われている。青野には、宅地が無いと言われる人が何人かいた。

議員もまちづくりにたずさわって行ってほしい。各地区とも独自の対策をしてほしい。

〈回答〉

定住促進として、予約型タクシー、市営住宅の状況の公開、あいあいバスなどしております。もっと、皆様に公開すべきと考えております。

〈質疑〉

前回にも要望しましたが、井原市でぶどうを作りたいという人が出て来ており、2年間の研修などがあり、研修後に独立されます。その際、住む場所が問題になって来ております。来年4月から結婚して、研修に入られるのですが、この辺りの問題についてどのように考えておられるか。

〈回答〉

我々もそう思いますが、市の方としては、なかなか対応されないのが現状である。先ほどの件でも、

村とかでは可能であるが、市では、そのような制度を持ってこれないのではと考えます。もう一度、市に確認して取り組んで行きます。

〈質疑〉

県道291号で、西江原の一部が一方通行で道幅が狭い。大興産業の駐車場の所に、ルート変更・用地買収などするように、嘆願書を書くようなことはできるのか。県と市の方で協力できないのか。

〈回答〉

県道でも市の方に出していくことはできます。議員もタッチできます。地元の人が、要望書を出したり、県会議員に依頼することも出来ます。

〈質疑〉

お知らせくんの効果及び普及を教えてほしい。黙っていることが多いので、もっと活用できないのか。

〈回答〉

各公民館でお知らせくんを使用するようにしてもらいたい。現在では約80%ぐらい設置されているということです。

〈質疑〉

サル捕獲の実績があれば教えてほしい。今後、どのように進めて行くのか教えてほしい。

〈回答〉

23年度、猟友会が捕獲した数は、サル14頭、イノシシ446頭です。何とかして捕獲を増やしていけないといけないが、愛護団体との問題もあり、また、猟友会も高齢化しており、後継者も育てていかななくてはならない。

〈質疑〉

学童保育で、人員の区切れがありますが、その区切れによって、補助金が出ているが、一人違っただけで、補助金が激減するケースがある。

〈回答〉

一人違えばかなり違うケースも出ているが、要望として承ります。

〈未回答〉

〈質疑〉

有害鳥獣の対策について、市内全体で問題になっているが、補助についても、一部補助外のものもあります。すべての対策について補助してほしい。例えば、ワンワン警報なども補助がありません。

〈回答〉

サルについては、3種類までの組み合わせが出来ます。例えば、トタン・電柵・網などのように条件はありますが、そのようなことも出来ます。市との協議をいたします。

〈質疑〉

有害鳥獣に関して、ぶどうの産地であり、野菜も被害があります。特に、サルの被害があるように聞いているが、エアガン（市で3丁）や花火（講習がいる）など、すぐに使用できるようにならないか。

〈回答〉

エアガンは、3丁で各支所にある。執行部に聞いてみると、今は、自治会に貸し出しする予定がないと聞いている。花火や爆竹に関しては、まだ検討する余地がある。

〈質疑〉

エアガンに関し、先日、農林課より紹介があり、依頼があれば出向くとあるが、サルには間に合わない。エアガンなどについての購入パンフレットがあればいただきたい。●●●●●●にあつたが、メーカーや型式を言ってくれと言われたので、農林課として参考資料があれば出してほしい。

〈回答〉

サルなどは、市に依頼して来てもらっている間には、逃げてしまう。農林課に確認して、連絡します。

〈質疑〉

小学校の管理棟（職員室、校長室が入っている）が、昭和35年築で老朽化しているので、建て替えが急務ではないか。避難場所としても指定してあるので。

〈回答〉

市に取り合ってみます。

様式第1号（第11条関係）

平成25年9月5日

井原市議会議長 宮地 俊則 殿

第2班 班長 大鳴 二郎

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	平成25年8月30日（金）19時30分～21時4分
開催場所	木之子地区 「木之子公民館」
出席議員	大鳴二郎 簀戸利昭 河合謙治 三宅文雄 森下金三
参加者数	28名
主な意見 要望等	※回答済み 別紙のとおり ※未回答 別紙のとおり
備考	

〈回答済み〉

〈質疑〉

井原では津波は無いが、大きな川があるし、ため池に対する対策については書かれていないが、どうなのか。

〈回答〉

最近、集中豪雨があり、防災に関しては、防災訓練もしており、避難場所は設定されていると思うので、公民館やお知らせくんなどで知らせてくれると思います。

〈質疑〉

他所の地区では、海岸沿いでは、どんな危険があるというような地図とかが作成されているが、井原では、そのような事は考えられていないのか。

〈回答〉

今年度、ハザードマップの見直しをしています。木之子地区としては、わかりませんが、昨年度、芳井地区で、河川の避難訓練もしており、今年度は、井原町で行う予定です。

〈質疑〉

介護保険について、母が小規模多機能施設に通っているが、笠岡市と比べて保険料はどうなのか。

〈回答〉

去年の4月1日から変わりました。7⇒9段階に変わりました。井原市4, 800円、笠岡市5, 208円

〈質疑〉

市営住宅について、一市民が言ってもダメだが、議員が言うとなすぐに解決することがあった。

〈回答〉

今後無い様に言っておきます。

〈質疑〉

有害鳥獣の対策は、どの程度進んでいるのか。

〈回答〉

防御するのが基本であるので、トタン・網・電柵の50m以上を囲んで、その資材費の半分以上を補助します。サルに限って、3種の防御柵まで認めています。

〈質疑〉

給与の減額処置について、月にどれぐらいか。

〈回答〉

総額9, 200万円である。国の復興財源の1億円減らすことに対しての処置です。

〈質疑〉

下水道について、どれくらい進んでいるのか。

〈回答〉

現在、木之子については、予定している所は完了している。

平成30年には、すべて完了する。出部は、半分ぐらいしか完了していない。井原市全体としては、市内の土地の状態が色々あるので、進行状況も各地区によって違います。

〈質疑〉

教育について、井原市の小中高の教育レベルはどれぐらいか。

〈回答〉

余りかんばしくない。前回40位代から今回30位代にはなったが、まだまだ、低いと思われる。倉敷市なども2学期制から3学期制に変えるとかありますが、井原市も考えていかないといけない。

〈質疑〉

木之子のがんばる地区を進めているが、元気地域補助金ということで、新規事業というのは非常に難しい。

〈回答〉

上限100万円で13地区にということですが、まだ、出されていない地区もあります。ソフト面なので、研修に行かれるなどどうでしょうか。

〈質疑〉

健康セミナー、認知症講習などに参加されない方、出来ない方のことをどの様に考えているのか。

〈回答〉

難しい問題である。ピアールはしていますが、強制は出来ないので、行政としても同じであり、地区で声をかけあって下さい。

〈質疑〉

お知らせくんについて、井原放送をとっておられない方には、連絡がいつてないのは、どの様に対応するのか。

〈回答〉

井原市が引き込み線をして、お知らせくんだけ聞けると言うことは出来る。そのかわり、井原放送は見れない。

〈質疑〉

お知らせくんについて、内容がきちっと聞こえる様に音を上げて聞いている人は少ないと思う。

ケーブルが非常に硬いので、柔らかいものに変更出来ないのか。

〈回答〉

執行部に伝えておきます。

〈質疑〉

でんちゅうくんのピーアールについては、どうなっているのか。市のどこに予約したらいいのか。

〈回答〉

企画課で予約出来ます。（ネット上で申し込み書がある）

〈質疑〉

市民病院の評判はどうなっているのか。

〈回答〉 院長が変わってから、福山市民病院、倉敷中央病院とは比較出来ないが、利用数は増えていて、本年度は、黒字の予定と聞いている。

〈質疑〉

地方交付税減額に対する井原市の職員給与減額はいつからするのか。

〈回答〉

6月24日に、総額9,200万円減額で決まっている。7月～3月まで

〈質疑〉

税金を余り使わない様にしていきたい。市議会でも、しっかり仕訳をしていただきたい。

〈回答〉

市議会も、チェックしながら、頑張ってやって行きます。

〈未回答〉

〈質疑〉

井原市として、地震を伴った訓練は、何年後ぐらいに行うのか。

井原市として、モデル地区を作ってリアルに行うのは何年後なのか。

各町単位ではなく、井原市全体で起こった時のことを考えているのか。するとしたら、何年後に行うのか。

〈回答〉

昨年は、芳井町、今年は、井原町として行った結果、反省点が出てくると思いますので、その後、地区住民、市として行って行くと思います。

執行部に確認します。

〈質疑〉

市役所で色々言うのですが、市営住宅において、穴を掘ってゴミを埋めたり、火をつけて燃やしたりしてい

る。誰が、どういう事で動くのか、誰もが知らん顔をする。

〈回答〉

野焼きはいけません。執行部に確認して対応します。

〈質疑〉

土砂崩れについて、すぐの対応ありがとうございます。どれくらいの土砂崩れの件数が上がっているのか。

〈回答〉

執行部に聞いて報告します。

〈質疑〉

光ファイバーの接続状態はどうか。

〈回答〉

各地区で工事中です。確認して報告します。

〈質疑〉

井原のおいしい水があるが、どこで販売しているのか。賞味期限はあるのか。

〈回答〉

最初のロット6, 000本作って、イベントなどで配るだけで、特に、販売はされない。

〈質疑〉

サンサン交流館の小さいものをもう少し市内（2～3箇所）に建てると言うのはどうか、木之子から少し遠い。

〈回答〉

地区の声として、持って帰ります。

様式第1号（第11条関係）

25年9月4日

井原市議会議長 宮地俊則 殿

第3班 班長 藤原清和

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	25年 8月 20日（火）19時 30分～ 21時 3分
開催場所	地区 「 西江原地区 」
出席議員	藤原清和、西田久志、宮地俊則、坊野公治、荒木謙二
参加者数	26名
主な意見 要望等	※回答済み 別添資料のとおり。 ※未回答 別添資料のとおり。
備考	

市民の声を聴く会

回答済み

質問

議長は本会議で発言順序は議会運営委員会で決められたとされています。しかし議員の多くは一般質問で議長に発言許可、または議長のお許しを頂いたのと質問の前に言われるが耳にいい感じを持たない。また必要ないと思うがいつ頃から始まったのか、またどう感じられているのか。

回答

何時の頃からかは分かりません。現状は慣習で来ています。申し合わせもありません。ご意見を持ち帰り全議員に報告させていただきます。

質問

働きながら学ぶ市立高校を新しく建設するに至った一番の原因は何か教えてほしい。

回答

市立高校の存在は無くすことはできない。ニーズは変わってきていますが、その必要性は変わらないのです。そして建物は耐震化診断する以前の問題であり、建て替えに至りました。

質問

少子高齢社会で高齢者が多いので行事をするにも大変である、議会としてのビジョンはないのか。

回答

井原市も少子高齢化が進んでいる中、企業誘致など若者を取り入れるよう考えています。住んでもらえるような環境を考えているが、何かいい方法が無いか地域の皆様と考えていきたいと思えます。

質問

興譲館について去年のこの会で質問しました。その答えの中「議会内でしっかり議論していきます。」とあるがこの一年間の議論でどうなったか教えてほしい。また市、議会から興譲館を支えようとする姿勢が見受けられないがどうしてか教えてほしい。

回答

議会では質問の回答について議論をしました。議会として「市にもっと働きかける」

とされていると思います。議会として何ができるのか投げかけていきます。

質問

興譲館が好きである、野球部の生徒も挨拶が良くでき素敵である。ますます好きになった。

回答

議会として興譲館のことを考えている。

質問

与一まつり、早雲祭り、子守唄は全国発信すべきであろうと思うが、美星ふるさと祭りだけが150万円なのか。井原市は振り分けができていない。全国発信はいくら、県内発信はいくら、市発信はいくらと明確にしてほしい。お願いしておきます。

回答

分かりました。

質問

土地価格が低くなっているのに、固定資産の評価が下がらないのはどうしてか。70年かけて自分の土地を買っているようなものです。固定資産税は大切な財源であるというのは分かるが、市は税に頼りすぎているのではないか、考えてほしい。

回答

執行部に伝えておきます。

未回答

質問

西江原小学校の体育館のトイレが壊れている、夏休みの間に修理すると返事があったが、工事をされている様子がない。どうするのか教えてほしい。

回答

持ち帰って確認を取りお答えいたします。

検討事項(3班で回答案を作成する)

質問

錦橋の高欄が低いので安全が確保されていないと思う。20数年来そうなっているがどうしてなのか。安全上問題があるのではないか。

回答

議会としては認識していないが、担当部局と検討していく。

質問

今の定時制を全日制に変える気持ちはないか。また他の地域に負担を求めることができいいのか。全額井原市が負担していくのは残念であります。

回答

検討課題とさせていただきます。

質問

お知らせくんについて、芳井の無線を回収されるといわれるが矛盾していると思うが、どうしてですか。

回答

安心安全を市長が言われている中、市内に配布している途中であります。いろいろな使い方がある「お知らせくんは」地域で格差を無くしていこうというのが目的であり、まだ第一歩であります。ご意見を持ち帰り確認いたします。

質問

お知らせくんは時代錯誤のものであり、無駄なことであると思える。笠岡放送はデー

夕放送を終日流されている。この方が多くの人に知らせることができるはずである、
どうにかならないのか。

回答

ご意見を持ち帰り確認いたします。

質問

西江原小学校の体育館のトイレが壊れている。夏休みの間に修理すると返事があった
が、工事をされている様子が無いがどうなっているのか教えてほしい。

回答

もちかえって確認を取りお答えいたします。

検討事項(3班で回答案を作成する)

様式第1号（第11条関係）

25年9月4日

井原市議会議長 宮地俊則 殿

第3班 班長 藤原清和

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	25年 8月 21日（水）19時 30分～ 21時 5分
開催場所	地区 「 高屋地区 」
出席議員	藤原清和、西田久志、宮地俊則、坊野公治、荒木謙二
参加者数	30名
主な意見 要望等	※回答済み 別添資料のとおり。 ※未回答 別添資料のとおり。
備考	

市民の声を聴く会

回答済み

質問

各委員会の構成は個人の希望でその委員会に入れますか。

回答

1期議員の希望を優先的に聞いています。あとは、2期3期の議員で決めています。どうしてもこの委員会でないといけないという人も考慮して、また同じ委員会へ続けて行かないようにも配慮しています。

質問

委員会は月例会がありますか、また月に何回という決まりがありますか。国会と市議会は根本が違うと思うが、国会のテレビ中継で興味あるのは委員会の質疑応答であります。原稿も何もないが突発的にわかりやすい議論があることがあります。活発な活動が市議会の委員会でもできていますか。一般質問で総務文教委員が総務に関することを触れていないと思う。執行部をけん制しなければならない皆様がけん制どころか丸め込まれているように思える。説明責任がもうすこし見えてもいいのではないか。ここまで言っても聞いてくれんのじゃという本音が出てもいいのではないか。市民の声を選ばれた代表の自覚があるからぶつけてみたら、こう帰ってきたぞと言えるはず。委員会で徹底的に勉強するために入っているはず、本会議で一言あってしかるべきだと思います。

回答

年4回本会議があり、本議会中に休会して委員会をしています。委員会では喧々諤々と議論をしていますが委員会の生中継はしていません。委員会の内容の要約したものは昨年度からホームページにアップしています。また委員会の動画配信も検討しています。委員会で議論して本会議で採決まで持っていくまで頑張っています、また提案があり次第委員会を開いて検討をしています。井原市議会は開かれた議会をめざしていますので、傍聴は原則自由としています。

質問

委員会に割り当てられたというだけでなく、情熱をこめてしっかり勉強して行政を動かす、また市を動かすぐらいの気持ちでやっていただきたい。ただ質問するだけでなくこうしたらいいのではないかと提案してほしい。この資料を見る限り一般会計、特

別会計あわせて360億円、市民45,000人、市民一人当たり80万税金を使っている。これがこれから時代を担う子供たちの背に負っていきますので経費節減を考えてほしい。

回答

「勉強して市を、行政を動かすぐらい気概をもってしてほしい」とのことですが、そのとおりだと思います。

質問

年寄りは今5種類の薬をもらっていますが、飲んでいない薬もあるので、今は自分が全部チェックしている。市の福祉課と協力したらかなりの節減ができると思います。

答え

医療費削減について市も頭を痛めています。薬の件ですが、これを抑えるためジェネリック薬品を勧めています。また重篤にならない様、特定健診などを受けていただき早めの治療を勧めています。

質問

ごみをかっちりしている所としていないところがある、きっちりやってほしい。

回答

ごみの出し方を出前講座などでやっているのですがまだまだ分別されていないところがあります。議員も含めて地域の人に徹底していきたい。ルーズになりがちですので頻繁に講習をして徹底していくつもりです。そうするとごみの焼却費用が安くなるはずです。この事を執行部に伝え要望していきたいと思います。先般、ごみの分別の資料が配られましたが、その中で新しいごみの出し方を考え、皆様のご意見をお聞きしたいと思います。

質問

市民は資源ゴミを分別して出しているが、収集業者がそれらを混ぜてパッカー車に入れている。分別しても意味がないのではないか。

回答

業者集積場で分別しています。運ぶ時に一緒にしているとの疑問があるが、分別しているのは事実です。担当課に報告しておきます。

質問

職員の給料はカットされたが、議員の報酬はカットされたのか。

回答

職員の給料の削減については、6月定例議会の最終日に執行部から提案されました。市といたしましてもすんなり決まったものではありません。日本全体の問題であります。受け入れなかったら地方交付税の削減、いわゆる蛇口を閉めるという事です。苦渋の選択であった。「議会はどうして下げなかったか」ですが、本会では個々の意見は言われないので、他地区の市民の声を聴く会で同じ意見もあると思います。全議員で議論をすることになるのではないかと思います。

質問

市立高校のことだが、古い、裏が山を控えているのは分かる。ほかに空き教室があるはずだが県と協議して何とかしてそれを利用するとか、誰も提案しなかったのか。いい提案をして少しでも税金を安くして無駄の無い様にしてほしい。

回答

県立高校の空き校舎については県の了解が得られずどうにもならなかった。その中で、県の定時制高校のあり方検討委員会でのその答申でも平成30年めどに、その方向性で検討していく。現時点では県北部には必要だが県西部井原市の定時制高校については当分しないということであり、市として何とかしなければならない。あの建物は市内の小学校を解体移築したものでおよそ耐震診断に値するものではないということで早急に建て替えなければいけないということになった。また今の場所がベストであるという考えに至りました。

質問

井原市の税金の未納者が3%なのか4%なのか。収納の仕方はどうしているのか。私は把握していないが皆さんが把握していないとおかしいがどうなのか。

回答

税金の徴収率アップに3つの施策をしています。

- 1、 未納の場合、特別徴収班を設けています。
- 2、 特別徴収員(嘱託職員)を設けています。
- 3、 県の方へ委託しています。

市民向けに啓発活動はしていますが、%は把握していません。

質問

市民病院を含めて亡くなった時に、日曜日または休日祭日に死亡診断書を書いてほしい。また近くでどうにかしてほしい。

回答

3班としては「実態を確認し報告いたします」と伝えたところ、地元薬剤師の岡田さんより「医師会として死体検案ができる医師を登録している。判断できなければ司法解剖する。裏に事件性があると警察は疑問を持ち死体検医が調べる。医師会はそのような体制を取っている。公立病院は拒否してはいけない、そして診察しなければいけない義務がある。」と報告がありました。

質問

道路管理について伺います。市道の雑木がほっとくと大きくなります。市の費用を私有地に使うことはできないと言われたが雨や雪が降ると木が垂れ、バスの屋根や宅配便の車の妨げになっている。雑木処理は少人数では無理である。民地だから市の税金は使われないのはわかるがこれでは民地の支障木はいつまでたっても処分できない。

回答

道沿いの支障木で垂れ下がった枝など民地のものは所有者で処理していただきたい。所有者が高齢者とかおられない場合、または緊急性のものは市で処理していくが、すべて税金であることを理解してほしい。市有林は市に報告していただければ市の方で処理いたします。

質問

有害鳥獣被害の中、イノシシ被害の対策費用として補助金を利用させていただいている。近年、ハクビシンが畑や高屋八幡神社の本殿のお供えを荒しています。私の知り合いの家で夜中に天井裏で大運動会をしていたと聞いています。他地区ではハクビシンの対策として捕獲用の金網を準備しているとか、住宅に入っているハクビシンを捕獲する費用を市が補助するとか聞いたことがあります。井原市におけるハクビシンの被害について聞いたことがありますか。また補助金がありますか。

回答

ハクビシンについての被害については聞いていない。
現在補助対象として、イノシシ、サル、ヌートリア、カラスであり、ハクビシンは補助の対象になっていない。

質問

里山の資本主義があちこちで言われているが、中国山地が一番先進地のように言われている。今は経済といえど換金主義で何が何でも金に換えていくという考え方をやめて、里山にあるものを資源、資産としていくという考えかたをしてほしい。それを実際にやっているのが中国山地の中にあるらしいと聞いています。視察で多いに研修して井原市が持っている資源、資産を再評価して検討した結果を我々に示してほしいと思います。

回答

貴重なご提言ありがとうございました。

質問

市会議員の出席名簿を市議会だよりに出せばいいのではないか。ただ病気で休むのは仕方ないと思うが。

回答

ほとんど休む人はいない。休む場合も正当な理由で休まれている。ちなみに2月、6月議会で欠席議員はいなかった。

未回答

質問

リサイクルについて聞きます。分別について井原リサイクルセンターがしておられるが、その先、収集したものはどうなっているのか。売っているのですか、商品になっているのですか、また収益になっているのですか。みんな頑張っているのにいい加減になっていたらこまる。喜ぶことを示してほしい。喜ぶことを広報に出せばいい。

回答

いろいろな問題は、西部衛生施設組合3市2町で取り組んでいる。昨年1年間で利益が出たか調べてお知らせする。

様式第1号（第11条関係）

25年9月4日

井原市議会議長 宮地俊則 殿

第3班 班長 藤原清和

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	25年 8月 22日（木）19時 30分～ 21時 10分
開催場所	地区 「 県主地区 」
出席議員	藤原清和、西田久志、宮地俊則、坊野公治、荒木謙二
参加者数	16名
主な意見 要望等	※回答済み 別添資料のとおり。 ※未回答 別添資料のとおり。
備考	

市民の声を聴く会

回答済み

質問

学校関係の参加者が来ていないのはどうしてか。

回答

出席の依頼は各地区にお任せしている。

質問

市議会だよりは、よくできている。大変ありがたいと思っている。

回答

ありがとうございます。

質問

市長選と市議選を一緒にできないのか。

回答

システムの関係があり、現職が合わそうとしてやめて我々と一緒の時期に選挙して当選しても、残りの期間が任期になるので現実的に難しいと思います。

質問

この前、環境課の出前講座を受けました。ごみの分別方法でものすごく物足りなさを感じました。市のごみの現状はどうしようもないが、私たちが知りたかったのは、正しいごみの分別の仕方です。説明の中、最初私たちが教わったごみの分別の仕方と違うことがありました。職員はきっちり回答してほしいです。

回答

もっともっと勉強して分かり易いはっきりとした説明をできるよう議会から要望します。

質問

去年の「市民の声を聴く会」で市の借金が16億くらいあると言われた。井原市もよそと一緒にお金がないのでしょうか。また借金は返していかなければならないと思うが、どうなっているのか教えてほしい。

回答

歳入の中で市税収入が約40億円あります。地方交付税が約80億あります。市債発行額が約16億ある。借金もあるが、貯蓄もある。財政調整基金が69億その他福祉基金などがあります。総額175億あり井原市の経営状況は極めて良好であります。

質問

銀行の場合、資本比率が12%なければいけないと言われるが、資本比率を上げようと思えば分母を引き上げればいいのではないか。井原市の台所状況はどうなっているのか。

回答

金利の安い方を借りてきて健全な方法で取り組んでいる。いらぬものを買わないようにしている。そうして市の負担を少なくしている。

質問

堤防で落成式をした。宮の端で車を止めてみてほしい。見えないものが見えてくるはずであります。

回答

分かりました。

未回答

質問

井原市において1人暮らしの家が多いかと思う、しかも男性が1人暮らし、こうゆう人に対しての支援をどう考えられているのか。わたくしは家内が若いころ踊りをしすぎて脳梗塞になった。80歳になって再発し、きのこ荘へお願いしている。男1人が生活している、こういう家庭が増えているのではないか、そういう家族に対しての要支援2をもらっている。文句を言ったら取り消しになった、(要支援1になった)何をもって取り消しになったのか。ちょっと歩いたら、要支援を打ち切る通知。これはおかしいのではないですか。物を持って物を触って歩いている、それなのに支援を停止された。どこを見ているのか、そうゆう人たちが増えているんじゃないかと思う、どうしてですか。

(ケアマネージャーが復活してくれて、介護1今になった)

回答

介護保険の認定については制度があります。また個々の事例がある高齢者のひとり暮らしについては、大きな課題であり議会も考えていかなければならない問題であります。議会に持ち帰り検討します。

質問

私は西方町の向山の西というところに住んでいる。私の前までは道が広がっている。そこから先は車が行きかいはできない、車が一台しか通れない。工事の方がこの後どうなるのかと確認したら、きのこ荘までやるのにあと3年かかるといわれた。本当にできるのか、これを確認したい。

回答

お尋ねの3年は平成24年度から平成26年度までの工事計画のことだと思われま。その3年度で60mを整備することを予定しておりますが、その後の計画は、用地取得及び地元の方のご協力なくしては整備できません。今現在未定でございます。(市民の声を聴く会終了後班で確認済)

質問

学校、公民館の土地は池であった。田淵、池田、池の下と言われていた。こうゆう場所での県主地区の避難場所は考えてほしい。避難場所としては良くない、軟弱地盤である、変えてほしい。

回答

もちかえり関係部局で検討いたします。

質問

防災倉庫の場所が地区の人でもわからないのでは意味がない。分かるように表示してほしい。

回答

もちかえり関係部局で検討いたします。

質問

犬のうんこの注意看板のところにまで犬のうんこがある、困っているどうにかしてほしい。

回答

もちかえり関係部局で検討いたします。

質問

防災で使用する土嚢の中身は畑の土を入れれば良いと言うわけにはいかない。工事の残土を集めておいて使えば良いと思うが、指定があるのか。地区の人や地域の人が把握していなければいけないのではないか。各地区の市有地に確保しとけばいいのではないか。

回答

もちかえり調べて報告いたします。

質問

門田川の改修について、実態的には改修に入っているのだが、何十年もかかっている、何年かかるのでしょうか。

決壊すれば、災害で直してもらえるのか。

回答

当局から答えを聞き文書でお返しいたします。

平成25年9月4日

井原市議会議長 宮地俊則 殿

第4班 班長 三輪順治

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	25年 8月 23日（金）19時30分～21時00分
開催場所	大江地区 「 大江公民館 」
出席議員	三輪順治、井口 勇、柳井一徳、藤原浩司、佐藤 豊
参加者数	13名（1名報道）
主な意見 要望等	※回答済み 別添資料のとおり ※未回答 別添資料のとおり
備考	

〈回答済み〉

〈質疑〉

市内に補助金団体はいくらあるのか、総額はいくらか？

〈回答〉

今お尋ねのまちづくりの補助金には3つあり、イベントを中心とした補助金が50万円、加えて、地域の特性を生かした協働のまちづくりの補助金、そして今回の新しい補助金も出来ました。本会議で、この3種の補助制度があることから、どういう棲み分けをするのか尋ねましたら、今は試行段階。今まである2つの補助金も残してやりたい、ということでした。

予算額は一件50万円がそれぞれ4～5件の枠ですから200万円程度、新設の頑張る地域応援補助金が、一学区100万円で13学区の1300万、他のものも合わせてざっと2000万程度が地域づくりの補助金です。

井原市が新しく始めた頑張る地域応援補助金のあり方等を見ていく中で、今回の3種の補助制度は最終的に整理されると思います。

この額についての問題はあります、本会議場で質しましたが、500人の人口規模の学区と7000人規模の学区を比べた場合、どちらも同じ100万円、おかしいのではないのか、という質問をしたのですが、新設の補助金はソフト面の事業を中心にやる、ということでした。また、新たな取り組み、試行の段階ですからやむを得ないかなという判断から、今年の予算はまちづくりに対しての補助金は2000万円程度となっておりますのでご理解下さい。

なお、補助確定団体と8月末現在、団体数14、事業数32、補助予定額950万円であることを執行部に確認しています。

〈質疑〉

委員会が現場へ視察に行った回数をちゃんと伝えて戴きたい。各委員会がどのくらい現場へ行っているのか。

〈回答〉

市内視察、所管の委員会の関係する施設、私の所管する市民福祉では「放課後児童クラブ」、「清掃施設の関係」、建設水道では「鳥獣被害」のある現場に行ってどのような被害があるのかどの様な対策を求められているのかと言う事を現地聴取しています。

また年に2回、4~5箇所の現場に出向いている建設水道も鳥獣被害対策の実情視察のため、美星や青野さらに井原市内等々、被害の多いところの実情を伺っている状況です。

〈質疑〉

予算のことですが、「依存財源」が大きいのが、合併特例債が10年でなくなる。今後の財源確保についてはどのように考えているのか。

「基金」についても限りがあるが、今後の市の財源を確保する方法を考えていかないとダメだと思うが、議会としての考えを聞きたい

〈回答〉

合併に関して、地方交付税が合併後10年間上乘せがあります。額にして10億円、しかし、これは27年度以降5年間でなくなります。

ここに井原市が作った「財政予測」がありまして、これによりますと、地方交付税に関しては平成25年には81億3000万円の見込みが、平成29年では70億円となり11億円の減となっています。

消費税増税の問題があります、5%から8%、10%に上がる中に10%になった時点で3%程度市に入ってきます。これに国・県支出金とかを加え、平成29年度の予算は本年度とほぼ同じ予算を見込まれています。財源的には厳しいが基金の活用であるとか他の歳入も含

めて市民サービスの低下にならないよう議会として監視していきます。

自主財源が井原市は 31%から 32%で、県内の平均では 36%くらいです。岡山市や倉敷市では 40%から 50%確保しています。基本は皆さんの市民税や法人税です。

法人税でも固定資産税とかほかにもありますけど、皆が頑張って活動していければ、法人税等が自主財源として返ってきます。市民税でも割合で税金が決まり返ってきます。

これから子供が減り、高齢者が増え、働く人たちが少なくなれば非常にきびしくなります、国全体もそうなります。ですから井原市が元気になるようなそういう仕組みを作っていかなければならない。特に農業分野、2次産業、さらに農業分野から6次産業へと、作ったものを売っていくことで皆が元気になっていけば井原市も元気になっていくようになることを目指して行きます。宜しくをお願いします。

平成 27 年から交付税が減っていきます。井原市は 4 つの基金をつくり、子ども地域の安全対策とか、無駄なものは省いていくというような施策をやっています。

何でも使える「財政調整基金」、これはひも付きでない基金で現在 70 億円弱、真庭市が 80 億円、岡山市や倉敷市も多いですが、井原市は県内では 4 番目くらいに位置しています。いざとなったらこれを取り崩して使っていかなければならない。景気がよくなれば利子での運用をしていければいいのですが。

なお、井原市としての基金全体額は 170 億円余りあります。

〈質疑〉

岡山県の教育はレベルが低いですが井原市としてその対策を聞かせてください。

学校のグラウンドの緑化の進捗状況、少なくとも運動公園のサッカーをすところリフレッシュ公園のグラウンドくらいは緑化(芝生化)すべきではないのか、学校や幼稚園のトイレの水洗化はどのくらいか。

また、クーラーが付いているのか。幼稚園、学校の耐震化の進捗はどの程度進んでいるのか。

〈回答〉

実質的には校庭の芝生化については、全面的には教育委員会は前向きでない。高屋小幼稚園は 5m×20m、出部幼稚園も芝生化するということですが、なかなか進んでいないのが状況です。

リフレッシュ公園も同じです。

教育に関しては色々難しい諸課題はありますが、議会としても独自に取り組んでいます。

トイレは浄化槽、下水道であります。大江地区内では、折口団地以外は下水道はまだである。クーラーは一般教室には無い。耐震化は殆ど完成している。

〈質疑〉

最近の異常気象と言うことで公共施設等の危機管理ということで、事前の監視活動を精力的に進めて頂きたい。

〈回答〉

上手く公共施設等の寿命を延ばし、無駄の無いインフラ、施設の整備をきちっとするように執行部に伝えます。

〈未回答〉

〈質疑〉

「頑張る地域応援補助金」の考えについて、大江は5月申請し、審議がありました。そのとき気がつきました。あまりにも審議委員に教育に携わる方が多い。その方が言われるのは、「是非とも子供さんを全町づくり協議会には参加をして欲しい。あるいは活動を一緒にして欲しい」という意見が非常に私の耳に残っています。というのが我々は子供を中心にする事は最後の考えで、まず今我々のする事は人間として今の年代として考えてまちづくりを起こすことをまず第一歩とし、次に子供を巻き込んでいくことが当然のことと考えているからです。

それが「最初から子供を巻き込んだ事業でないと補助金は出さない」という意見を頂きました。それでは考え方自体も私達は片寄ってくる。子供を巻き込んだまちづくりでないといけないと、非常に耳に残りました。まずまちづくりと言うものは今、活動をしている我々が今後の大江の事について一生懸命に考えて、それを成功させて始めて子供を巻き込んで、大江として益々次世代に繋ぐ活動にして行きたい、と思うのです。

しかし審議会の委員の方は、まず子供を巻き込む、子供を一緒にしてくれと言う意見が非常に多い、明日ですか7月で申請した審議会があると思います。このようなこと、非常にもう初めから申請をしてその答えも当然わからない、私非常に心配しております。そのことも少し議員の方に、もしよろしかったら、そういう審議の仕方、人選の仕方を考えていただければ、(ありがたいと思います。) 私は一年目です。二年目、三年目も続いて色々なまちづくりにそれが取り入れていけるのではないかなと思います。どうぞ宜しくお願いします。

〈回答〉

まちづくりは子供のみを対象としたものではなく、地域の文化や資源をいかに有効に利

用するのか、たまたま子供を主役にした地域もあると思います。審議会委員のメンバーは知っておりませんが、いろんな形でまちおこしを考え、大江の在り方など、いろいろな活動分野があると思います。

今のご意見は執行部のほうに、最初から決めてかかるようなことはいけないということは、班長のほうから議長を通して伝えます。

まちづくりの本来の形はまだまだ形成段階でありますから試行錯誤もあると思います。

「大江を活性化させる」意味で頑張って頂きたいと思います。宜しくお願いします。

〈質疑〉

手元にある第二回市民の声を聴く会の資料中、15番と17番ですが15番では、仮置きは可能ですが、あとの運用が明確であればと書いてあるが、17番については跡地の利用計画については現段階では未定です、とありますがどちらを信じればよいのか。

「平成の森」としてお借りした土地でグランドゴルフとか散歩コースとかをつくっている。ここへ行く途中ですのでとても便利のいいところなので今後の利用計画があれば電気を付けるとか、とても楽しみにしている所ですが、利用計画が無いということになれば、とてももったいないと思っていますので、井原市のために何か役に立つ方法がないかと思うので、そこらあたりもちゃんと地元伝えて頂きたい。

ソーラーを設置すると言う考えも地元では思っています。温泉施設とかも含めて考えています。

〈回答〉

9月議会定例会の委員会にて地元と協議をしながら進めて行くと執行部に伝え協議します。

〈質疑〉

循環バスは何年契約ですか。バスには殆んど乗っていない。車を小さくして経費を削減したらどうか。

〈回答〉

単年度での契約です。皆さんが使わないと成り立たない。地域の特性を生かしていく計画を進めて行きます。是非とも市民の方の利用をお願いします。必ず担当部局に伝え、委員会でも協議していきます。

〈質疑〉

請願に関しての審議の在り方についてお願いします。

TPPに関する参考の意見陳述をしましたが、結果は不採択になりました。国政の問題ではあるが、百姓としての考え方で意見を述べました。反対をするのは議会の見識であるが、既に始まっている話に市議会として意見書を出すことは相応しくない、という判断はわかります。それは議会の見識ですから。

それにしても残念に思ったのは、私に対しての質問が一言も無しに不採択になりました。不採択になる前にもう一度私に意見を言う場を与えてほしかった。

政治を身近にする事は国政でも取り上げてほしい。一言でも意見を述べて頂きたい。

〈回答〉

このご意見は、議会に持ち帰り必ずお伝えします。

請願については参考人の意見を聞くことになりました。議会人としての勉強不足もあつたのかと反省しています。今後の課題として議会へ持ち帰り検討したいと思います。

〈質疑〉

相原公園の桜の開花が少ないので、植え替えてください。

公園には、さざんか、さつき、つげとかあります。植木の剪定は地元がしている。せめて年に一度位は予算を付けて、専門の方に見て頂きたい。

しょうぶ園があった。あじさい園もあった。いずれも日照りで枯れてしまった。もっと研究して折角の水辺の活用を考えてください。

〈回答〉

桜は植え替えていくようになっております。他の公園の手入れに関しては担当部局に伝え、アイデアを出して行っていきたいと思っております。

様式第1号（第11条関係）

平成25年9月4日

井原市議会議長 宮地俊則 殿

第4班 班長 三輪順治

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	25年 8月 24日（土）14時00分～16時00分
開催場所	芳井地区 「 芳井生涯学習センター 」
出席議員	三輪順治、井口 勇、柳井一徳、藤原浩司、佐藤 豊
参加者数	32名（2名報道）
主な意見 要望等	※回答済み 別添資料のとおり ※未回答 別添資料のとおり
備考	

〈回答済み〉

〈質疑〉

議員としての日常の行動を各自言ってください。

〈回答〉

- ・本庁・支所へ出向き勉強している。
- ・出部地区を本拠として諸課題をあずかっています。国や県の動向も見ながら勉強している。
- ・本庁で聞き取り、美星地域の相談要望が多く意見交換し、集会等でも要望、意見を聞いて執行部へ要望意見を伝えている。
- ・公明党として全市的な対応をしている。毎回質問ですので勉強視察をしている。
- ・党活動もしている、要望等を2日に一度は行き伝えている。
- ・2日に一度は庁舎へ行っている。支所での市民の声を聞き本庁舎に伝えている。

〈質疑〉

半分分かったようで、半分分からない感じがします。ベテラン議員、新人議員それぞれまあ、持ち場もあって頑張っているとは思いますが、実際の仕事は議員さんと同時に市の職員が大半こなしているのが多い。議員さんはアドバイスされとるんか聞いているだけなのか、よく判りません。

そういうことをひっくるめて、議会が年4回ある。1回が25日と書いてありましたが、現実には10日ほどですかね。出席されるのは他に委員会で出たり出なかったり、それぞれの部署で違うでしょうけど、年間5、60日ぐらいは活動されているのでしょうか。

職員の給与は6、7%、市長等役員の給与は10%くらいカットされている。であれば国も県も市も議員の報酬のカットが無いのはおかしいのではないのか。

議員は月35万円の手当てが、また1箇月3万円の別の手当て。加えて、ボーナスが35

万×4カ月で140万。1ヶ月とすれば50万、年間600万。

一般市民からしたら倍の金額です。その金額に見合う仕事はなんじゃろうか、多すぎるから減せえと思うわけで、なぜ今まで減額しようとししないのか。先ほどはそこまで詮索される必要は無いというようなことだったが、我々の税金が使われているわけです。

私が思うに報酬のバランスからして、各地区に連合会長なり公民館長がいます。芳井は21人、美星は22人、井原が50人。これらの方の報酬はどうなっているのか。その人らはボランティアです。1戸当たり170円の手当てがある。だから100戸あれば17000円、200戸あれば34000円くらいしかない。

議員の1/200か1/300しかない中で、実際の各地域の行事はボランティア。「農業祭」にしても「盆踊り」にしても大半が連合会長なり公民館長が中心となって、準備から片づけまでしている。議員は来賓で居すわっているだけだ。

議員の数を減らすか、報酬を2/3にして、余ったお金を連合会長や公民館長に差し上げたらどうか。

〈回答〉

目だった動きは無いが、それぞれの議員は、議員としての仕事はちゃんとしています。ふんぞり返っている議員がいるなら、議長を通して正していきます。

手元の資料によると、人口50000人未満の市であれば、議員の平均報酬は32.5万円です。この議員報酬は我々が決めたわけではなく、報酬を検討する審議会で決めているわけです。

議員としては、市民の方から「報酬を上げてやれ!」と言われるような仕事をして行かねばならないと思っている。

市民の声を聴く会で、多くの市民の方が「議員報酬が高い」といわれるならば、審議会での協議となります。議員の数は20名ですが、議員定数については、引き続き考えていき

ます。

〈質疑〉

議員の中山間地への定期的な巡回をして戴きたい。まちなかの議員がどれだけ(過疎地域の)実態を把握しているか、正しい理解を議員は出来ていないのではないのか。議員が偏在されるようになったら正しい理解が出来ないのではないのか、定期的に巡回をお願いしたい。

議員定数の件、議員さんの味方をする訳ではないが、先程●●さんが指摘された件ですが、合併当初は48人、その後26人、22人、さして現在20人としているので、議員定数は良心的に対応されてきたと私は評価しています。

〈回答〉

・井原市全体が「辺地」でありますので、持ち帰り議員全体に伝え、実態を踏まえ具体的な質疑をしていきます。

今後の動向も踏まえた上で、いただいた提案の返答とします。

・出身地以外の地域の声、要望を聞き知り、指摘いただいたことを議員として議論して行きますので宜しくお願いします。

〈質疑〉

防災設備について、井原市は設備はできているが芳井・美星はまだ出来ていない、井原後月で災害があったのか、1億円を使って無線を設備したのに、それを壊して3億円も使って「お知らせくん」に使うより福祉や公共事業に使ったほうが良いと思うがどうなのか。

〈回答〉

「お知らせくん」はすでに議決していますので執行して行きます。

竹下総理時代にふるさと創生事業で芳井町は無線を付けられましたが、老朽化していません。

無線、有線を問わず色々な手段がある。(有事の際の連絡手段等)議会としても考えていきますのでよろしくお願いします。

過去の災害があったかどうかですが、佐原で小田川決壊した事例はありました。

〈質疑〉

議員定数のことです。22人の議員がおられて市民の予算については4~5人質問しただけで、15人の議員は質問もしなかった。議員は要らないのではないのか。(場内から「10名ぐらいでいい」という声あり。)

〈回答〉

市民の代表者として、市が提案する予算案であれ条例案であれ条例改正案であれ、疑問として質問をしていかなければならない。誰に遠慮して意見しないのか、なぜ疑問を持ったことを言わないのか、議会に持ち帰りちゃんと伝えます。

(定数10名と言われたことに対しては議会で引き続き検討してまいります。)

〈質疑〉

将来的に「でんちゅうくん」はこれから続けて売っていかれるのですか。

〈回答〉

60周年記念で作った「でんちゅうくん」ですので、売出しをしていくのが基本です。

井原市を売り込んでいく、使用権は無料で封筒、シャツに使うのは無料であるので皆さんも上手く利用してください。

〈質疑〉

フジテレビの「笑っていいとも」へ出演してきました、それでちょっと井原の宣伝をしてきたんですが、ごんぼう羊羹と駅へ有ったパンフレットと「でんちゅうくん」の小さい切抜きをアルタスタジオにおいてきました。売り込むには多少のお金を掛けないと売れな

いと思うんですが、ある程度の予算はいると思います。シオドメの博覧会にユルキャラが集まっていたんですが、そういうイベントへ行ったりしていけば売れてくると思います。ホームページにそういったイベントの開催がのっているので活用宜しくをお願いします。

〈回答〉

「でんちゅうくん」の使用権を無料にしているので活用してください、井原市もお金を使いますので、皆さんも上手く活用して井原市を発信して頂きますようお願いします。ご提言有難うございます。秘書課の方へ是非ともご用命下さい。

〈質疑〉

天神峡ですが、夏場はたくさんの方がキャンプをしたりで来て頂くのですが、大曲のところの利用が多くとても多くのゴミがたくさん残っています。シルバーさんの費用とかトイレの浄化槽の経費が掛かっているのに経費を埋める為にも駐車場を有料にしたらどうですか、それが出来ないならゴミは持ち帰ってもらうようにして戴きたい。

〈回答〉

「来た時よりもきれいに」の精神のもと、利用者への啓発、駐車場等の有料化など、担当課へ伝えます。マナー・ルールを守っていただくように、貴重なご意見ですので生かしていくようにしていきます。

〈未回答〉

〈質疑〉

連合会長や公民館長の立場、議員さんとの賃金のあり方も考えてください。

〈回答〉

この意見は、担当部局へ伝え後日回答します。今後の協働のまちづくりのあり方も含め、回答します。

〈質疑〉

井原放送の件ですが、今年の二月議会の最初の議会の録画を夜に編集して流している。2月28日の放送、生中継はまともに流しているが夜には編集して流している。最終日のものはその日に流してない。

傍聴にいていたのですが、ここは流さないだろうなと思っていたら流れなかった。井原放送へ聞いたら「市の方から言われたから流せなくなりました」と言われ市の方が圧力をかけるのなら生中継する必要はない。それでそれをいつ流すか聞いたら2月25日に流すと土曜日に流すとそれを皆知っているのか。誰も知っていない。2月25日に流すものはやらせだ。地元のニュースを即座に正確に流すのが基本でしょ。生中継は生としてちゃんと流して頂きたいという要望を伝えてください。

〈回答〉

事実を調査し、正すべき点は正しますので宜しくお願いします。

〈質疑〉

庁舎でのエレベーターの利用のことです。

・市長、職員は階段、議員は特権意識がありエレベーターを使っている。職員さんは公僕、議員は特別公務員です。公僕ですから意識改革を是非してください。磨きを掛けて誇りある議員に成長して下さい。

・お金を使って視察研修をされてもその結果はすぐには出ないが、行政視察した項目は市民に効果を伝えてください。

・基本条例に遵守すると誓約書を書いて頂きたいと思います。辞職勧告を受けた議員が最後まで辞めなかった、こういうことが無い為に。議員の資質を高めて頂きたい。

〈回答〉

エレベーターの利用の件は「健康寿命日本一」を掲げている井原市でもありますので、議員皆に伝えます。

常任委員会の視察での成果が質問にもなっていますが、市民には判りにくいので報告での検証については議会へ持ち帰り、議会は議会としてけじめをつけて行きます。

「誓約書」の件はこの場では答えられませんが、持ち帰り検討します、答えは必ずお返しします。

〈質疑〉

定数を少なくしろというのもいいですが、金額は今のままで人数を倍にしてもいいのでは。

また、地震の問題で法面にコンクリートをして保護する方法とかあります。安く付く方法があればそうしてほしい。

〈回答〉

定数は議会の中で市民の声を聞きながら考えていきます。

防災、急傾斜地の工事の工法は執行部に考えさせます。また、議会としては経費が適切かバランスの取れたものか協議します。

〈質疑〉

教育のことですが、市立高校、興譲館、井原高校、があります。特色のある3つの高校のあり方をどう思っているのか、3つの学校の特色を活かして町づくりをしていって頂きたい。

〈回答〉

井原高校は県立であり、市として余り意見は言えない。興譲館は私立であり、市長の思いで意見が言えます。今後担当委員会で協議していきます。市立高校ですが、昔は仕事をしながら学ぶ場でしたが、今は昔とは違い、学び直しの間でもあります。学び直しの場は必要であります。

それぞれの特色を活かしていけるような町づくりを担当委員会で協議していきたいと思っています。

平成25年9月4日

井原市議会議長 宮地俊則 殿

第4班 班長 三輪順治

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	平成25年8月28日（水）19時30分～21時30分
開催場所	荏原地区 「 荏原公民館 」
出席議員	三輪順治、井口 勇、柳井一徳、藤原浩司、佐藤 豊
参加者数	50名（1名報道）
主な意見 要望等	※回答済み 別添資料のとおり ※未回答 別添資料のとおり
備考	

〈回答済み〉

〈質疑〉

井原放送でも「詳しくは市のホームページ」をご覧ください、と言われますがホームページを実際見とる人と、見れる人は何人くらいでしょうか。

「お知らせくん」でも「市のホームページをご覧ください」と言われてますが、どのくらいの方が見て居られるのですか。

〈回答〉

・井原市内での実績調査はしていないが、全国的な傾向と似かよっています。世帯数の7割以上、井原の場合は有線でしたら井原放送と契約している方で実際には7割、全国の実績から言っても7割程度であると思います。「ホームページを見てください」というだけで終わってはいけない、よく聴いて帰ります。

紙媒体、公民館に置いて頂くとかで徹底して行きたいと思います。

・「広報いばら」の中に取り入れ、報告していますので紙媒体として配布をしていき、パソコンが利用される方はそれにより取り入れていただくと言うことでご理解下さい。

〈質疑〉

12Pですが「頑張る地域応援補助金」のことですが、荏原町づくり協議会として歴史部会で今回申請し了解をして頂いていますが、一学区100万円となっています。来年度以降の考え方、今年初めてですので議会としても一学区100万となっていますが、看板等も要りますし、今後の予定等考え方について議会側は何か聞いておられますか。

〈回答〉

まちづくりと言う地域の方の熱意を元に、ハードソフト問わずそれに対する応援をする、というのが本来の形なのでいずれ当局もそこらのことを考えていると思います。補助金の

額も市民の皆さんが納得していただくような額についても市のほうも考えています。額の問題、何処まで出来るのか議会としても検討をして行きたいと思います。

〈質疑〉

企業誘致のことです。井原市内では10年ぐらい殆ど無いと思いますが、定住促進課も出来た今、「住」も必要ですが「働くところ」もいると思います、国も成長戦略に向いていくなかで、非常に今よい時期である、井原市にはどんな魅力があるんなどということにも疑問がある。

矢掛町が力をいれられている、総社も市長が変わられて活発に動いている、農地転用の規制緩和もしてくれと言うことも見えている、議会も市長も積極的に動かないと、力を入れている市町村と、まあまあと言う市町村とではかなり差が出てくるのではないかと、頑張っているなあと感じたいのでしっかりして戴きたい。

国の出先機関の誘致と言うことも考えていかないとダメではないかと、山口県的美祢と島根県の旭には「刑務所」があり1000人の刑務官が永住する、そうすると経済効果が生まれる、職場復帰センターという名前に今はなっているがそういうことも考えて行かないとダメではないか。

〈回答〉

井原が元気になるためには働くところが無いとダメである。深刻な少子化が進んでいる、子供の数も少なくなり高齢化も進んでいる。

その上、働く方も少なくなると元気もなくなっていく。簡単な方法としては企業誘致があるが、トップセールスが必要である。矢掛町は非常にトップの思いが強い。

刑務所の関係を例に挙げられましたが、井原市だけでなくもっと広域化で観ていく必要があります。

大きな「水素タンク」でも糸島市か町だったか、施設を持ってくることにより、新しい

物が出来る。人が集まり活性化する。農業でも同じである。企業支援もしていくべきである。働く人が少なくなっている現状に対し、色々な施策をしていく。

井原市の活性化に向け、あらゆる方法や手段や人のネットワークを使ってやっていきたいと思います。インフラの整備も含め、井原の活性化につなげて行きたいと思います。

貴重なご提案有難う御座います。

〈質疑〉

大々的な防災訓練が芳井地区で行われたが荏原地区ではしないのか。「避難支援プラン」があるが市民に周知徹底して具体的に生かされているのか。これに対して指示がされていないと思いますが、コミュニティーに避難場所と看板がありますが誤解をまねきませんか、ハザードマップには交流センターは冠水するようになっています。が、そんなところに避難場所を設けるのはおかしいのではないのか。どんな時にそこへ避難するのをもっと分かりやすく説明したほうがいいのではないのか。各地区で必ず周知徹底して避難訓練をしていくべきではないか。どこかで避難訓練を、防災訓練を実際にしていくべきだなと、いざと言うときには役に立つなと思うのですが。

〈回答〉

各小学校区で防災訓練をするのがいいと思っています。今年は井原町で実施されます、荏原も実施して行くよう考えています、地域の皆さんの防災についての意識も高まらないと思います。自主防災組織と言うのがあります。災害のパターンを地元の方々が防災組織の中で協議していき高年齢者のことも地元で協議していく、そういう意識を持つこと手助けが必要な方が何処におられるのかと言うことは地域の皆さんしかわからない、行政では把握しきれない、地域防災力を高めていただくことが大切なことでもあります。自主防災組織の補助は現在あります。また、地域の防災士の研修制度もあります。

〈質疑〉

地域防災士の要請について、と言うことで協働推進課のほうから矢掛で研修会があるので井原 13 地区で防災士を置くという。荏原地区としては防災組織を立ち上げてから平行して防災士を設置していくつもりです。荏原のことですので、地域の皆さんと防災組織を立ち上げていきたい。防災組織は全市的なことですよね。

皆さんの意識の高揚が無い中で、防災士ばかり要請していてもダメなので井原市全体で防災に対しての意識が確立した段階でこうした取組みをしていくのが基本。全体でまとまってない段階でやっても何にもならないので、荏原地区は自主防災士の研修は今回はしない。地域の皆さんと防災組織を作ってから防災士を作っていくつもりです。防災士だけが先行しても仕方が無い、各自治体が充実していかなければ意味が無いので。

〈回答〉

皆さんの気づきがあって初めてものが生まれる。行政頼りだけではいいものが出来ない。

皆さんの意識が変わる時がいい組織ができる。まず意識づくりである、いざと言うときを想定して荏原の特性を生かした問題、課題を生かした荏原のマップを作って自主防災組織を力強く行っていただきたい。

貴重なご意見有難うございました。

〈未回答〉

〈質疑〉

13P「空き家バンク」の件です、大変いいことですが契約までは難しいのではないかと。7 件の契約実績はどこから来た方でしょうか。県内でしょうか、県外でしょうか。啓発はどうしているのですか。7 件入った方の感想は

〈回答〉

どこから入られたか、また、入居後の感想については、後日答えさせていただきます。啓発

は、ホームページ、広報紙ですがあわせて後ほどお応えします。

〈質疑〉

14P 観光行政についてですが、個々に出てこないのですが完結したのですが、手元に、第二回の質問と回答書を頂いていますが矛盾していませんか。当時の委員長もいますのでくどくど言いませんが、積極的に取り組んできましたが、新しい議員になって行ってないように思いますがどうなっているのですか。是非ですね、こうした取り組みは継続していくのが大切なんです、今後もやって行くというだけではなく、観光に力を入れていこうということは北条早雲だけではなく、子守唄、ごんぼう村、那須の与一もあります、観光行政は井原市として大きなテーマだろうと思いますので、協議事項として是非やって行って頂きたい。議論だけするのではなく活字に起こして頂きたい。

〈回答〉

今後も取り組んでいきます。このままで終わらすことは無いのでご理解下さい。

〈質疑〉

小田川の河川の浚渫、樹木伐採について一級河川の観音橋の上流から薬師橋の上流区間が河川の流れが非常にゆるい。河川の幅も広く堆積した中須が出来たりし雑木が茂って取水時には流水を阻害して水位上昇の原因になる。もう一つ「下谷川」のとの合流地点でもあり、「下谷川」の流れもスムーズに行かず樹木は堆積し、天上川ですので水位が上昇している水門等の問題も含め水位が上昇しますと公民館、小学校を含め低いところにあるので冠水するというこによって家屋の浸水が十分に考えられる。

ハザードマップによると 100 年に一度の雨量があることを想定していますが現実的に内寺川も下谷川上流等が増水すれば浸水すると、県の関係等となりますが、笠岡市・井原市・県と河川の中が行政区分が分かれますが河川の樹木伐採を協議して戴きたい。

二点目、押撫(おしなで)薬師橋線、小田川にかかる橋ですが草刈等をやってみてわかったが、上部のコンクリートがはがれ鉄筋も露出しているのので、早急なインフラ整備を笠岡と井原市とちゃんと協議してください。

三点目、議会改革について、議員の削減について今年の選挙で 20 人にしたが、まだ多いと思う。他市にくらべても議会としてはどう考えているのか、市議会の基本条例が平成 23 年 4 月から議員さんも取り組んでいます、今回新しい議員を含め十分理解していないのではないか。

四点目、議員選挙の投票率が悪い。議員の日常活動のあり方が悪いのではないか、サラリーマン化しているのではないか、出部の会場でも厳しい意見がでたと聞いていますので、定数は 4 名ないし 5 名の定数削減で、できるのではないかと聞かせてください。

〈回答〉

下谷川は天上川であります、合流地点の問題は早急な減災に向けての対策が望まれています。県境、市境と難しい折衝ごとがある中で、薬師橋の関連、樹木の伐採、浚渫も含め時間がかかると思いますが、この地区の安全安心の為に優先課題として取り上げて行きたいと考えています。

定数の問題ですが、平成 17 年に合併しました、当時は 48 人、その後 26 人、22 人、そして現在 20 人となっています。20 名でも市民の方にはまだ多いと言われていています、議員のあり方、議員活動の基本は何かとあり方を考えていかねばならないと、「お前らよく頑張っている！」といわれるように仕事をしていく、議会へ持ち帰り伝え議論して行きます。

ところで、先ほどの発言の中で、出部であったことは何だったのでしょうか。

〈質疑〉

それは横(議会内)の中で調べ聞きなさい。現実にあったことなので委員会でも協議し、皆さんにあった事を知らせるようにしてください。

〈回答〉

判りました、受け止めて持ち帰って十分に検討していきますので、少しお時間下さい。

〈質疑〉

市のまちづくり協議会に関し、地域の高齢者の実態のアンケートを実施しました。荏原地区の中に病院、医療機関、スーパー、専門店、商店、銀行、金融機関が全く無い。地域の運転が出来ない高齢者にとっては大変なことである。息子がたまに帰ってきたときに買い物に連れて行ってもらうとか、近所の人に買い物に行かれるときに一緒に連れて行ってもらうとかしている。これは遠慮があるとかで中々頼めない、今現在運転ができて10年、20年先には運転も出来なくなる。そういう実態の方たちが増えてくる。病院や商店を設置するには色々な問題があると思いますが、私たちが市民として生きていく上で生活の範囲が制限される。このことは非常に大きな問題ですから、市議会としてもこの問題を、全体で住み良くなって行くにはどうしていったらいいか議会でも検討をして戴きたい。

審議会の中に市外の審議委員を使っているが、教授とか有識者とか主なメンバー4〜5人で審議をする、外部の人を呼べば経費も掛かる、申請について審査をするのは市の職員でいいと思うが、市の職員と色々腹を割って話をして決めればいい。今後の審議委員のありかたの検討をしてください。最後に8月22日の中国新聞に出部の場外舟券売り場のことについて出ていたが、国土交通省が開設を認可したと出ていたが、議会のほうでも論議をされて市の考えであるとか地元の方針で決められたのでしょうか、地元の井原市の青少年を守る会の方のコメントが「住民への説明が無く残念」と言われていますがどうなのか

〈回答〉

地域内で身の回り物が揃わない、というのは交通手段が揃わなくなると大変不便である。それは地域として存続するのに必要要件の一つであります。

企業が立地するということは地元としても、将来の展望を持ってもらえる。これから地

域の中の生活が狭くなるということは、街中でも起こってきます。

どうやって「医療過疎」であるとか「買い物難民」であるとかを改善するか。

井原市は「過疎地域」に指定になっているので、色んな角度から視野に入れ、議会としても検討をさせていただきます。今日、結果は出ませんが持ち帰りそれぞれの議員で十分に検討する材料にさせていただきます。

補助金のことですが、外部からのアイデアもあるということで、外部の委員からの意見もひとつの意見ですが、井原市を外から見た考えも必要です。

また、職員で事情を分かった方が居てもいいわけです。パートナーシップ推進員もいるわけですから、それらを活用してもらってもいい訳ですから、このことは持ち帰り伝えま

す。

舟券売り場の件ですが、地元への説明がおろそかになっているという事ですが、国土交通省には「地元」の定義は無いんです。地元と言うのはあくまで立地する単位学区と定義したらそれで終わりです。

設置者であるフューチャーが地元で2回説明会をしています。

地元の○・×・中立のアンケートも見ましたが、70人の地元全て100%が賛成かといえ

ばそれはありえない。市が地元として認めた地域が賛成であるなら何も踏み込めない。国

が決めたところが地元なんです。それを広げていくことはしないんです。

総務文教・建設水道と合同協議もしたが、議会は本会議で「議会としては反対しない」と意志表明をしました。その後井原市長が同意したということで地元、議会、市長が同意したということで国土交通省がOKをだしたという事です。

結果として決まったことですから、決まった以上、危惧している、子供、交通のことも、地元を含む「環境委員会」を作って、警察を含め協議していく。

この場で力を入れていくことが正しい。地域でいかに活用するかに力をいれていくこと

が今後の課題である。

・賛成の自治会の方、反対の方を議会の委員会へ来て頂き、双方の話を聞き、「地元は問題ない」という生の声を聞き、最終的に賛成多数で議会は結果を出したということです。

〈質疑〉

高越城址は井原市全体の宝、観光資源でありますので早雲祭りは井原市と地元の協賛です。早雲祭りも 24 回してきた。議会の力も借りながら顕彰する活動へどんどん巻き込んでいけたらと考えています。我々「民」が出来ること、今回小田原市へ町づくりの関係で 40 名行きます。

これは民間交流です。行政執行部は長年にわたって 5 月の北条五代祭り、北条五代観光推進協議会へのシンポジウムへの参加。執行部は出席していますが議会同士の参加はありません。

今後は、皆さんにしか出来ないこと、急に議会同士と皆さんと言うわけには行かないので、せめて井原市の議長、小田原市の議長との交流ぐらひはまず取り組んでいただきたい。小田原市は井原市と友好親善都市に匹敵するくらいだと思います。小田原市の議長と井原市の議長との交流を機会も持って頂きたい。大河ドラマはてんぷらではないので、議会としても後押しをしていただきたい。議長に伝えてください。要望します。

〈回答〉

議長同士が交換会交流会を民間発の友好親善はたくさんありますので「民が動き官が動く」その熱い思いを議長に伝え、実現出来るよう申します。

〈質疑〉

ここ 2 カ月ほどで急病人が 2 人も出て、救急車が家まで上がってくれないのはどうしてか、道路が狭いなら狭いで何らかの対応があると思いますが宜しく願います。

関連補足

ワンコインバスが空気を積んではしっていますが、車を小さくして経費を少なくして手広く回ってほしい。

〈回答〉

現地を見て回答をさせて頂きたい。担当部局に伝え、早急に回答します。

バスの小型化とかデマンドタクシーとかあります。公共交通は担当部局に申し伝え対応します。

〈質疑〉

踏み切りが3箇所もあるのは荏原だけで、3箇所もあって救急もこまる、荏原の駅舎だけ屋根が付いていない、客は雨が降ったら非常に困っている。井原鉄道の社長は井原市長だと、この前聞いたら荏原の駅は耐久性が無いから出来ない、と言われたが出来ませんか。踏み切りもどうにも成らないのですか。

〈回答〉

経営的に厳しい中での要望ですのでご理解いただきたいが、前回にも同じ質問がありました。踏み切り、屋根にしても回答していますが、再度出た質問ですので持ち帰り、必ず伝えます

〈質疑〉

避難場所の件ですが、あれを指定した人は実際に避難を経験した人がつくったんですか。青木公園の避難場所にしてもあんな山の上に年寄りが行くこと自体無理なことで、執行部へねじを巻いてください。

〈回答〉

防災計画については、現在見直しの段階です。

防災は難しい想定外を何処までみるのかということもあります。財源についても限りがありますので持ち帰り検討します。

〈質疑〉

幼稚園でお世話になっています。荏原の幼稚園を綺麗にして頂き有難う御座います。子供も大変喜んでいますが、預かり保育もしていただき働いている保護者は大変助かっていますが、夏休みの預かり保育ですが、教育委員会のほうにも言ったのですが 8:30～5:00 までの預かりになっています。やはり働いている保護者は、夏休み前、通常時は 7:50 から預かっているのですが、夏休み 8:30 ですと働いている保護者は預けられないで、ほかの一時保育のほうで 7:30 から預かってもらうと一時保育の保育料と預かり保育の保育料と幼稚園の保育料となると、普通に保育園の保育料のほうが安くなる。

保護者の考えは地元で育てたいという気持ちであるのに、預かっただけないとせっかく 3 年保育になり幼稚園も新しくなったのに、来年以降の募集は保護者として幼稚園がいいよって声はかけられない。

教育委員会に行くと各幼稚園のほうで優遇している出部幼稚園もある。荏原は今年が初めてなので、早い人で 8:20 なのでやはり幼稚園へは預けられないという保護者も今年は出たので、今年度はちょっと我慢してください、と保護者に説明があったので、一時保育を利用しながら働いている保護者も居るんです。夏休み前から預かってもらっているのに 8:30 から預かるということになるのか判らないんです。

〈回答〉

夏休みの預かりのあり方を担当委員会で協議し使いやすいように担当部局で協議してまいります。

担当委員から委員長にあげ、弾力的なあり方をしていくように議題として取りあげ、時間はかかりますが 9 月の定例会でも早速協議して行きたいと思います。

〈質疑〉

農道を修繕してほしいと要望していますが、水道工事の関連の車両が通って益々悪くなったのですが要望も踏まえてどうなっていますか

〈回答〉

明日現地を見て、担当部局に伝え回答を対応いたしますので、少しお時間下さい。